



目次

- 改訂情報
- ブラウザの利用条件
 - 利用可能なブラウザ
 - 製品が利用できるためのブラウザ設定
 - 製品利用時の注意点
 - トラブルシューティング（ブラウザ編）
 - ブラウザ共通
 - Internet Explorer
- 個人設定について
- ログインする
- 基本編
 - パスワードを設定する
 - カレンダーを設定する
 - ロケールを設定する
 - 日付と時刻の形式を設定する
 - テーマを設定する
 - バナーを隠す
 - メニュー表示を設定する
 - グローバルナビを設定する
 - ユーザ名表示エリアの最大幅を設定する
 - デスクトップ通知をダウンロードする
 - プロファイルを編集する
 - メッセージ通知の設定を行う
 - メッセージ通知の設定を変更する
 - メッセージ通知の設定を一括で変更する
 - サイトツアーを呼び出す
 - ヘルプドロップダウンから呼び出す
 - 共通マスタダイアログから呼び出す
 - IMBoxの設定を行う
 - プロフィールを変更する
 - 通知設定を変更する
 - 投稿設定を変更する
 - チャット設定を変更する
 - 数値形式を設定する
- 基本編（スマートフォン）
 - テーマを設定する
- 応用編
 - プライベートグループを設定する
 - プライベートグループを設定する
 - マイメニューを設定する
 - マイメニュー表示する
 - マイメニューにサービスを追加する
 - マイメニューにフォルダとアイテムを作成する
 - サイト内のキーワードを検索する
 - 詳細な条件を指定して検索する
 - 検索結果の表示設定を保存する
 - 所属を変更する

- スマートフォン版を使う
- パスワードを忘れた場合
 - パスワードリマインダ機能を利用してパスワードを再設定する
- Office 365 連携 に必要な設定を行う
 - Office 365 連携 を許可する
 - Office 365 連携 を解除する
- SAML 認証を行う
 - intra-mart Accel Platform ユーザと IdP ユーザをマッピングする
 - intra-mart Accel Platform のログイン画面からSAML 認証してログインする
 - intra-mart Accel Platform と IdP からログアウトする
 - intra-mart Accel Platform のログイン画面を経由せずSAML 認証してログインする
- 多要素認証を行う
 - 確認コードを利用してログインする
 - バックアップコードを利用してログインする
 - 多要素認証を有効化する
 - 多要素認証を無効化する
 - バックアップコードを作成する
 - 信頼済みブラウザ情報を削除する

改訂情報

変更年月日	変更内容
2012-10-01	初版
2012-12-21	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「パスワードを忘れた場合」を追加
2014-01-01	第3版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「バナーを隠す」を追加 「サイト内のキーワードを検索する」に全文検索画面についての記述を追加
2014-04-01	第4版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「パスワードを忘れた場合」の説明を変更
2014-08-01	第5版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「サイト内のキーワードを検索する」の説明に「並び替え」についての記述を追記 「ログインする」を追加
2014-12-01	第6版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「メニュー表示を設定する」を追加 「デスクトップ通知をダウンロードする」を追加
2015-04-01	第7版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「プロフィールを編集する」を追加 「メッセージ通知の設定を行う」を追加 「サイトツアーを呼び出す」を追加
2015-12-01	第8版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「個人設定について」の一般ユーザが個別に設定できる内容にユーザ名表示エリアの最大幅設定が追加された記述を追記 「メニュー表示を設定する」を画面変更に伴いキャプチャの差し替えと、ユーザ名表示エリア設定を追加 「Office 365 連携に必要な設定を行う」を追加 「個人設定について」の一般ユーザが個別に設定できる内容にIMBoxが追加された記述を追記 「IMBoxの設定を行う」を追加
2016-04-01	第9版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「日付と時刻の形式を設定する」に日時の入力形式に対する警告を追加
2016-05-27	第10版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> 「ブラウザの利用条件」にブラウザの利用条件を追加
2016-12-01	第11版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「数値形式を設定する」を追加
2017-04-01	第12版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none"> 「SAML 認証を行う」を追加

変更年月日	変更内容
2017-12-01	第13版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「マイメニューを設定する」のアイコン選択方法の変更に伴い、キャプチャを差し替え
2018-04-01	第14版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「多要素認証を行う」を追加
2018-08-01	第15版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「サイト内のキーワードを検索する」に詳細条件の内容の変更と新規検索の設定画面の説明を追記▪ 「多要素認証を行う」の画面キャプチャを変更▪ 「多要素認証を無効化する」に注意事項を追加▪ 「ロケールを設定する」の画像キャプチャの変更とコラムを追加▪ 「個人設定について」にコラムを追加▪ 「基本編 (スマートフォン)」を追加▪ 「テーマを設定する」を追加

ブラウザの利用条件

項目

- 利用可能なブラウザ
- 製品が利用できるためのブラウザ設定
- 製品利用時の注意点
- [トラブルシューティング（ブラウザ編）](#)
 - [ブラウザ共通](#)
 - [Internet Explorer](#)

利用可能なブラウザ



コラム

「リリースノート」 - 「クライアント要件」を参照してください。

製品が利用できるためのブラウザ設定

<共通>

- ブラウザをインストールした初期状態で利用してください。



コラム

詳細（設定の状態、推奨する画面解像度、文字サイズ、表示倍率）については、「[弊社製品を利用する際に必要なブラウザの設定](#)」を参照してください。

- ブラウザのポップアップブロックは解除してください。
- 製品はCookies機能を利用します。Cookiesは有効にしてください。



コラム

インストール直後の設定ではCookiesは有効です。

<条件により必要な設定があります>

- Internet Explorerの場合
 - ・ Internet Explorer の互換モードオプションは無効にしてください。
- 製品・アプリケーションにより、インストールが必要なツールがあります。

製品・アプリケーション	インストールが必要なツール
ViewCreator - 「クエリ編集」画面 アプリケーション共通マスタ（互換） - 「商品マスタ設定」各画面 richtextarea（非推奨タグライブラリ）	Adobe Flash Player
IM-ExApply for Accel Platform	ActiveX

製品利用時の注意点

- ブラウザの [戻る]、および、[進む] ボタンは使用しないでください。
- 同一のコンピュータで同一種類のブラウザを複数または、複数タブで表示した画面において、更新系の操作は非推奨です。




コラム

関連する制限事項

- 利用するブラウザや個人設定で設定したテーマによっては、レイアウトが崩れて表示される場合があります。動作上問題はありません。
例：互換テーマなどの左側にメニュー表示されるテーマなどを選択した場合など

トラブルシューティング（ブラウザ編）

ブラウザ共通

現象	原因、および、解決方法
正しく動作しない アイコンが表示されない	ブラウザのキャッシュをクリアする  コラム Webブラウザのキャッシュをクリアする方法
文字化けなどが発生する	ブラウザの表示言語設定（エンコード）は、「自動判別」になっている

Internet Explorer

現象	原因、および、解決方法
ログイン時に403エラーが発生する	セキュリティ設定が cookies へのアクセスを許可しない設定になっている  コラム 関連するFAQ
ClientSideJavaScript が動作しない。 例：ボタンをクリックしても反応しない。 ブラウザのスクリプトエラーが表示される。	セキュリティ設定のレベルが「高」になっている
Cookies機能が動作しません。	プライバシー設定のレベルが「高」になっている
ファイルのダウンロードにおいてダウンロードに失敗したり、ダウンロード成功後 ClientSideJavaScript が動作しない	画面を再読み込みしてください
通常ポップアップ表示されるはずの画面が、元画面の別タブに表示される	Internet Explorer 11をビルトイン Administrator で使用すると、名前付きのウィンドウの名前が認識されません 下記のリンクを参照し解決策を検討してください https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2909974



コラム

関連するFAQ

個人設定について

一般ユーザが個別に設定を変更できるものには以下があります。
テナント管理者が設定した内容が、初期状態として表示されています。

- パスワード
- 使用するカレンダー
- ロケール情報
- 日付と時刻の表示形式
- テーマ
- グローバルナビに表示するメニューの数
- ユーザ名表示エリアの最大幅 (intra-mart Accel Platform 2015 Winter(Lydia) 以降のバージョンより設定可能)
- IMBox (intra-mart Accel Platform 2015 Winter(Lydia) 以降のバージョンより設定可能)

上記以外にユーザが自由にメニューを作成できる「マイメニュー」や、任意のユーザをグループ化して管理できる「プライベートグループ」等があります。



コラム

2018 Summer(Tiffany)よりスマートフォン版にも個人設定が追加されました。

ログインする

- Webブラウザより 以下のURLへアクセスします。

ログイン画面 : `http://<HOST>:<PORT>/<CONTEXT_PATH>/login`



コラム

下記構築例の場合、ログイン画面へのURLは次の通りです。

ログイン画面 : `http://localhost:8080/imart/login`

項目	例
<HOST>	「ローカル環境 (localhost) 」
<PORT>	「8080」 ポート
<CONTEXT_PATH>	「imart」

構築された環境によってログイン画面へのURLは異なります。詳細については、システム管理者にお問合せください。

基本編

パスワードを設定する

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「パスワード」の順にクリックします。
2. 「パスワード」画面が表示されます。



パスワード

パスワード

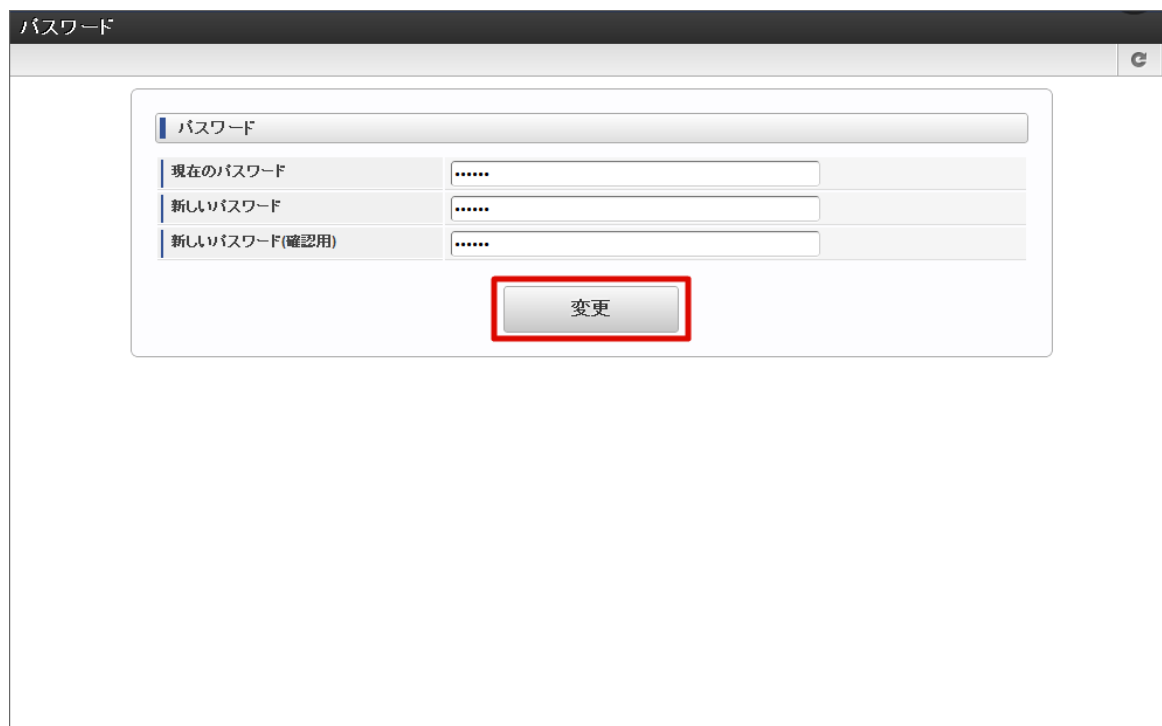
現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(確認用)

変更

3. パスワードを入力し、「変更」をクリックします。



パスワード

パスワード

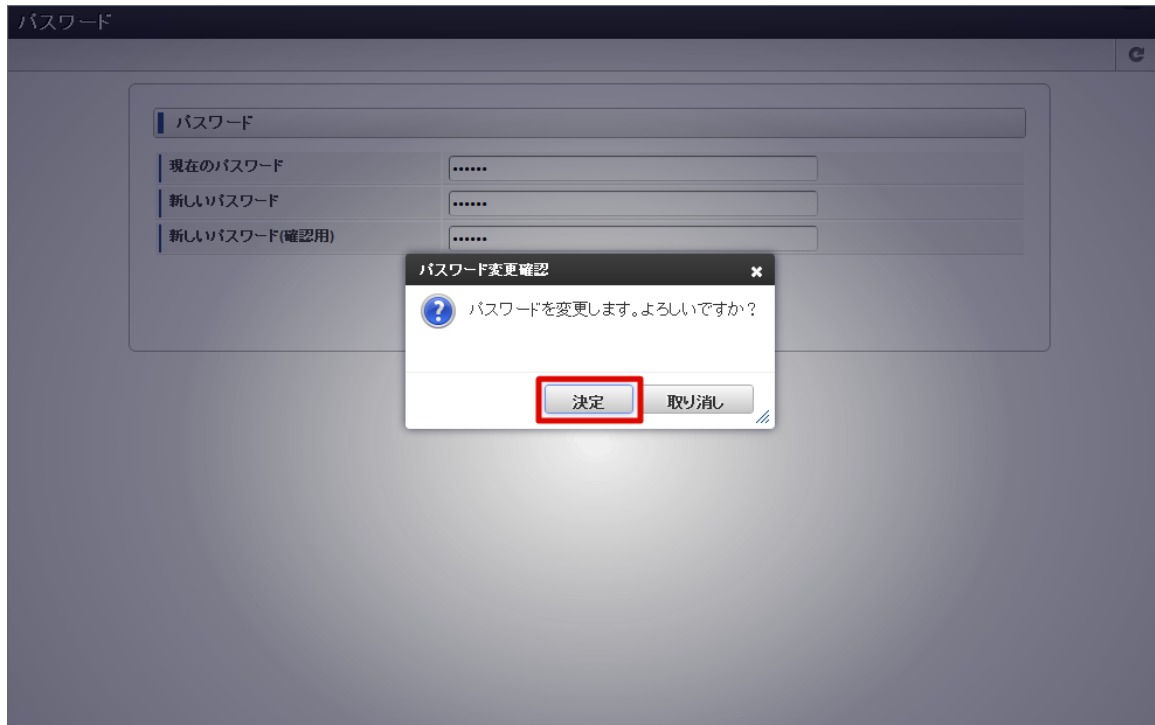
現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(確認用)

変更

4. 「決定」をクリックします。



5. 「パスワードを変更しました。」とメッセージが表示されます。
パスワードを変更することができました。

カレンダーを設定する

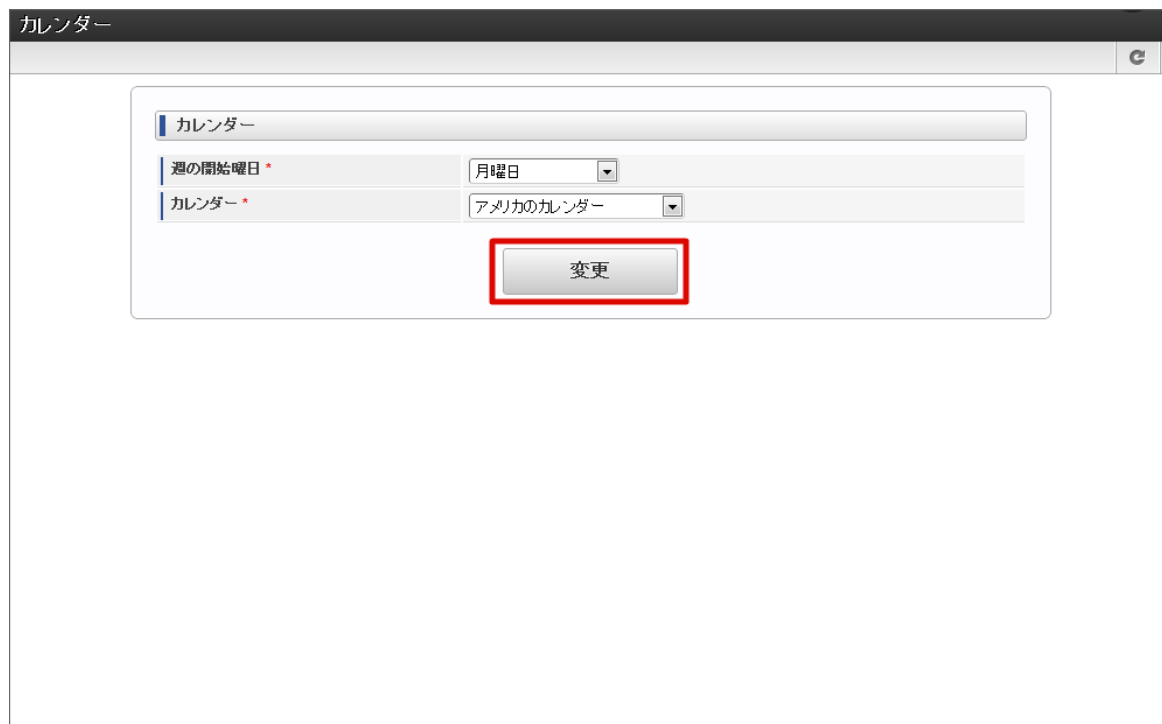
利用するカレンダーの「週の開始曜日」や「種類」を設定することができます。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「カレンダー」の順にクリックします。
2. 「カレンダー」画面が表示されます。

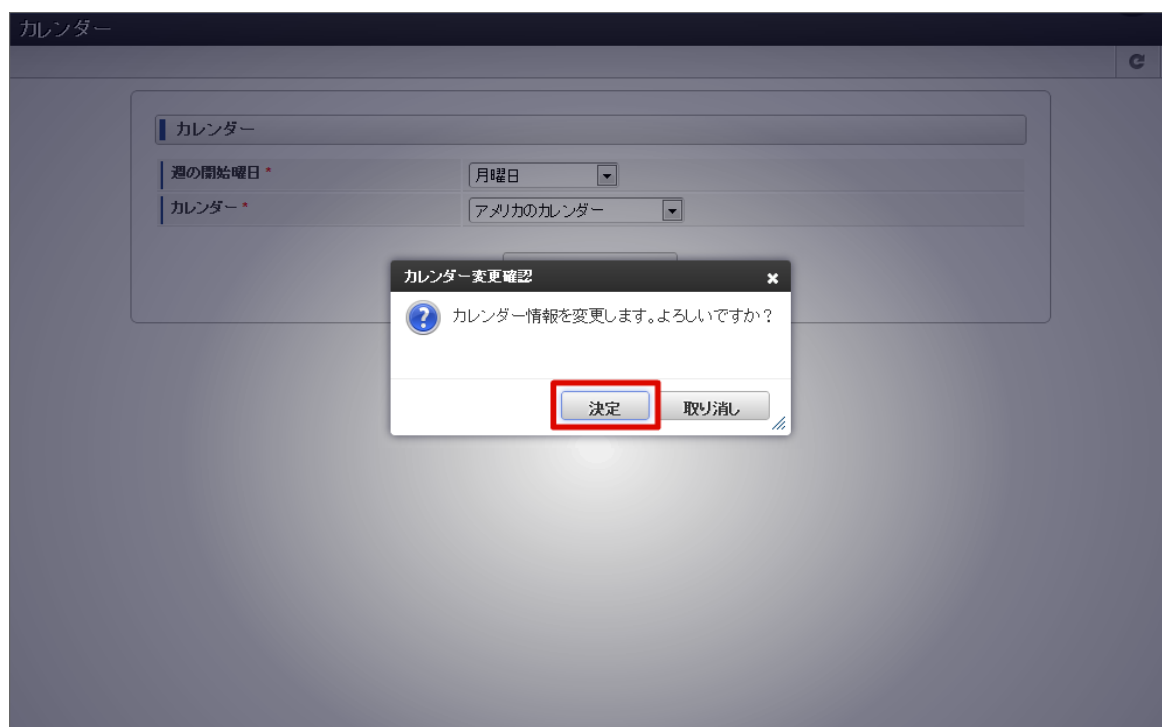


- 週の開始曜日
カレンダーを表示する際、一番左に表示したい曜日を選択します。
- カレンダー
利用するカレンダーを選択します。

3. 「変更」をクリックします。



4. 「決定」をクリックします。



5. カレンダーを変更することができました。



コラム

個人設定で設定したカレンダーは、ワークフローの申請基準日や検索画面の検索基準日等、日付の入力時に表示されます。

ロケールを設定する

利用する言語、タイムゾーンを指定できます。

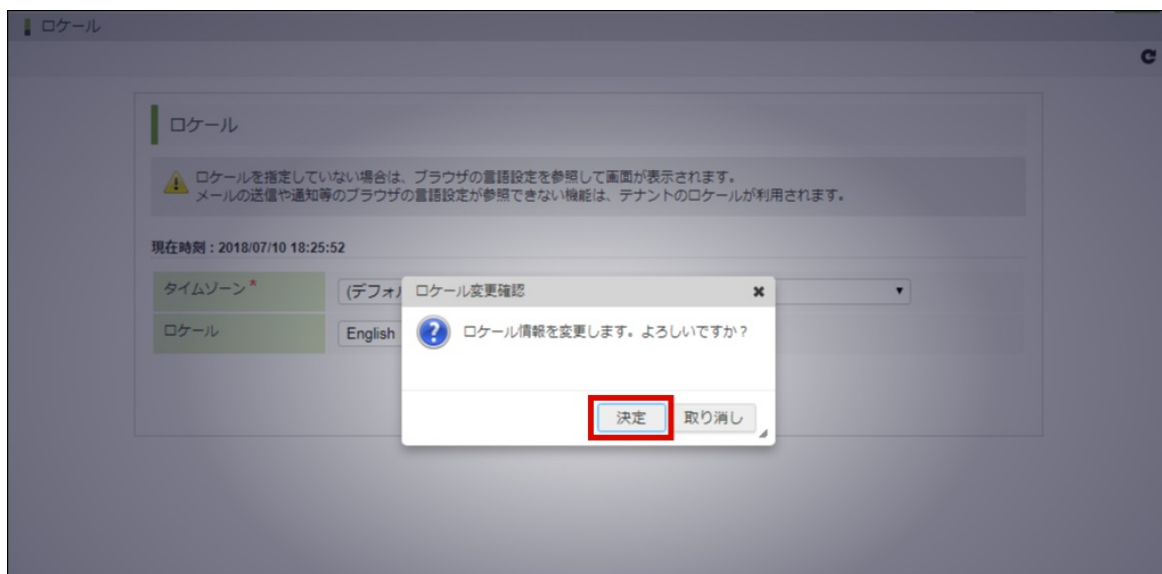
例えば、海外出張時には現地の時刻を表示する、画面に表示する内容を外国語で表示する等ができます。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「ロケール」の順にクリックします。
2. 「ロケール」画面が表示されます。

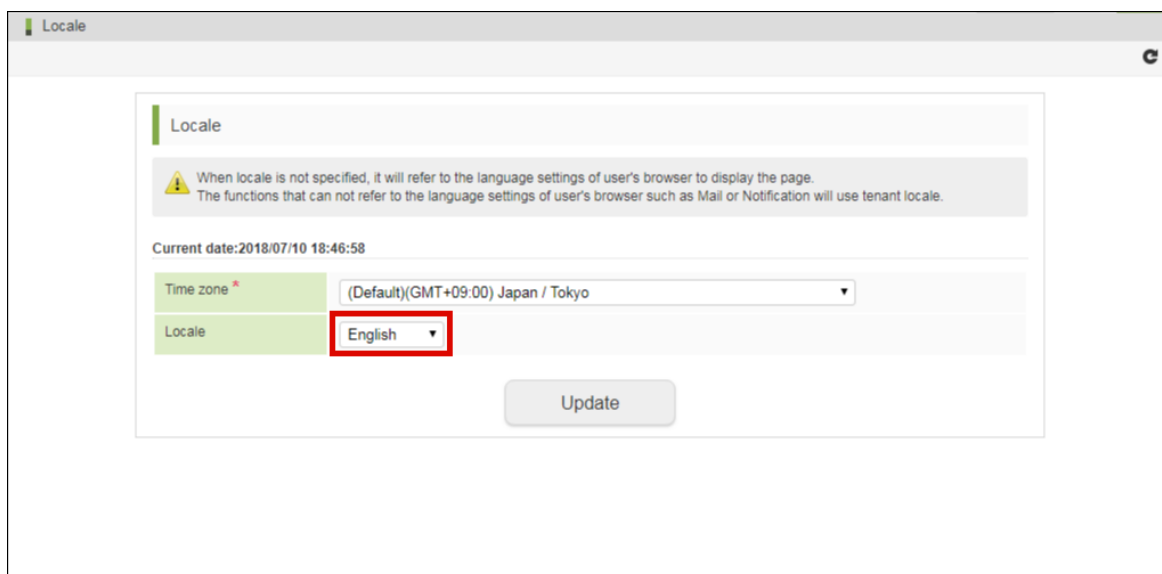
3. 「変更」をクリックします。



4. 「決定」をクリックします。



5. ロケールを変更することができました。



コラム

intra-mart Accel Platform 2018 Summer(Tiffany) で、個人設定でロケールを指定しない場合の「ロケール」に関するセレクトボックスに表示される項目名を変更しました。

- intra-mart Accel Platform 2018 Spring(Skylark) 以前の場合、テナントで設定されたデフォルトロケールの言語を項目名に表示します。
- intra-mart Accel Platform 2018 Summer(Tiffany) 以降の場合、空欄を項目名に表示します。

日付と時刻の形式を設定する

画面上に表示される日付と時刻の表示形式を設定することができます。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「日付と時刻の形式」の順にクリックします。
2. 「日付と時刻の形式」画面が表示されます。

日付と時刻の形式 C

形式の切り替え

日付と時刻の形式を選択後、各フォーマットで使用するパターンを選択してください。

* 日本語形式 ▼

日付

フォーマット	パターン	表示例
標準表示 *	yyyy/MM/dd ▼	2016/02/05
簡易表示 *	MM/dd ▼	02/05
入力 *	yyyy/MM/dd ▼	2016/02/05

時刻

フォーマット	パターン	表示例
標準表示 *	H:mm ▼	17:00
タイムスタンプ表示 *	H:mm:ss ▼	17:00:11
入力 *	HH:mm ▼	17:00

- 形式の切り替え
選択したロケールに合わせて表示形式が変更されます。
- 日付、時刻
表示されるパターンを選択します。

3. 「変更」をクリックします。

15

日付と時刻の形式

形式の切り替え

日付と時刻の形式を選択後、各フォーマットで使用するパターンを選択してください。

* 日本語形式

日付

フォーマット	パターン	表示例
標準表示 *	yyyy'年'M'月'd'日'	2016年2月5日
簡易表示 *	M'月'd'日'	2月5日
入力 *	yyyy/MM/dd	2016/02/05

時刻

フォーマット	パターン	表示例
標準表示 *	ah:mm	午後5:42
タイムスタンプ表示 *	ah:mm:ss	午後5:42:23
入力 *	ah:mm	午後5:42

変更

4. 「決定」をクリックします。

日付と時刻の形式

形式の切り替え

日付と時刻の形式を選択後、各フォーマットで使用するパターンを選択してください。

* 日本語形式

日付

フォーマット	パターン	表示例
標準表示 *	yyyy'年'M'月'd'日'	2016年2月5日
簡易表示 *	M'月'd'日'	2月5日
入力 *	yyyy/MM/dd	2016/02/05

時刻

フォーマット	パターン	表示例
標準表示 *	ah:mm	午後5:42
タイムスタンプ表示 *	ah:mm:ss	午後5:42:23
入力 *	ah:mm	午後5:42

変更

日付と時刻の形式変更確認

日付と時刻の形式を変更します。よろしいですか？

決定 取り消し

5. 日付と時刻の表示形式を変更することができました。

日付と時刻の形式

形式の切り替え

日付と時刻の形式を選択後、各フォーマットで使用するパターンを選択してください。

* 日本語形式

日付

フォーマット	パターン	表示例
標準表示 *	yyyy'年'M'月'd'日'	2016年2月5日
簡易表示 *	M'月'd'日'	2月5日
入力 *	yyyy/MM/dd	2016/02/05

時刻

フォーマット	パターン	表示例
標準表示 *	ah:mm	午後5:42
タイムスタンプ表示 *	ah:mm:ss	午後5:42:23
入力 *	ah:mm	午後5:42

変更

注意

システム管理者によって日時の入力形式に対しての変更が許可されている場合のみ「入力」のフォーマットを変更することができます。

テーマを設定する

利用するテーマを設定することができます。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「テーマ」の順にクリックします。
2. 「テーマ」画面が表示されます

テーマ

現在のテーマ

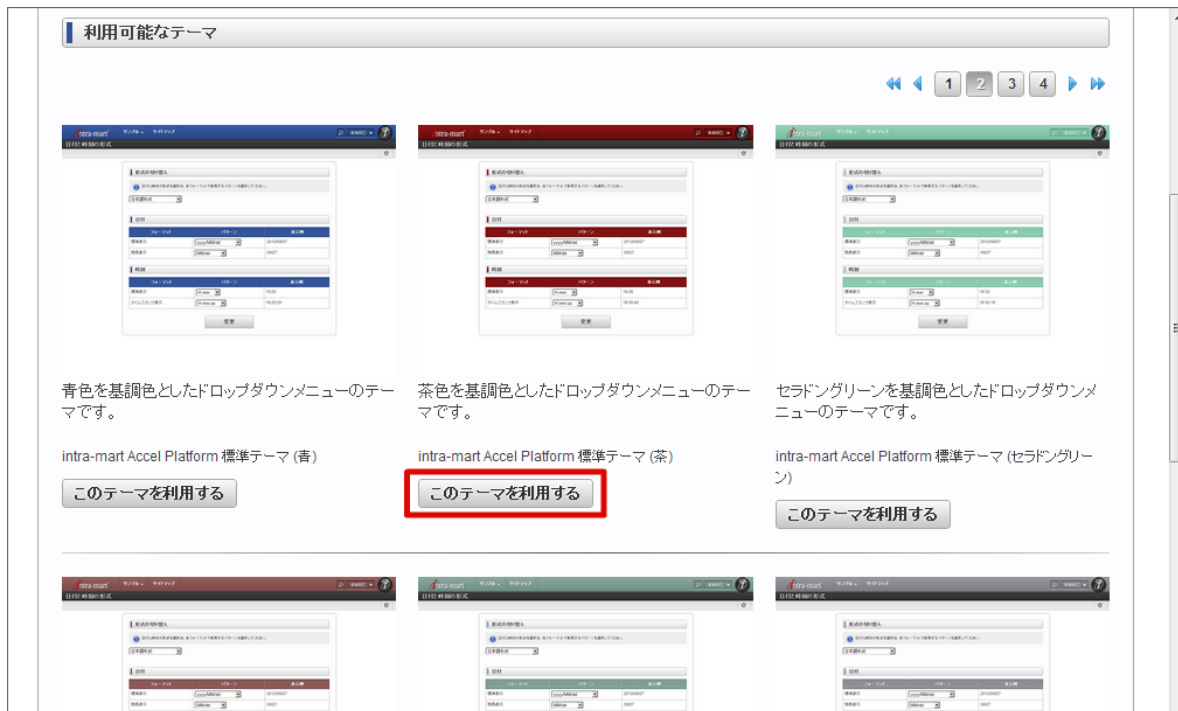
青色を基調色としたドロッダウンメニューのテーマです。

intra-mart Accel Platform 標準テーマ (青)

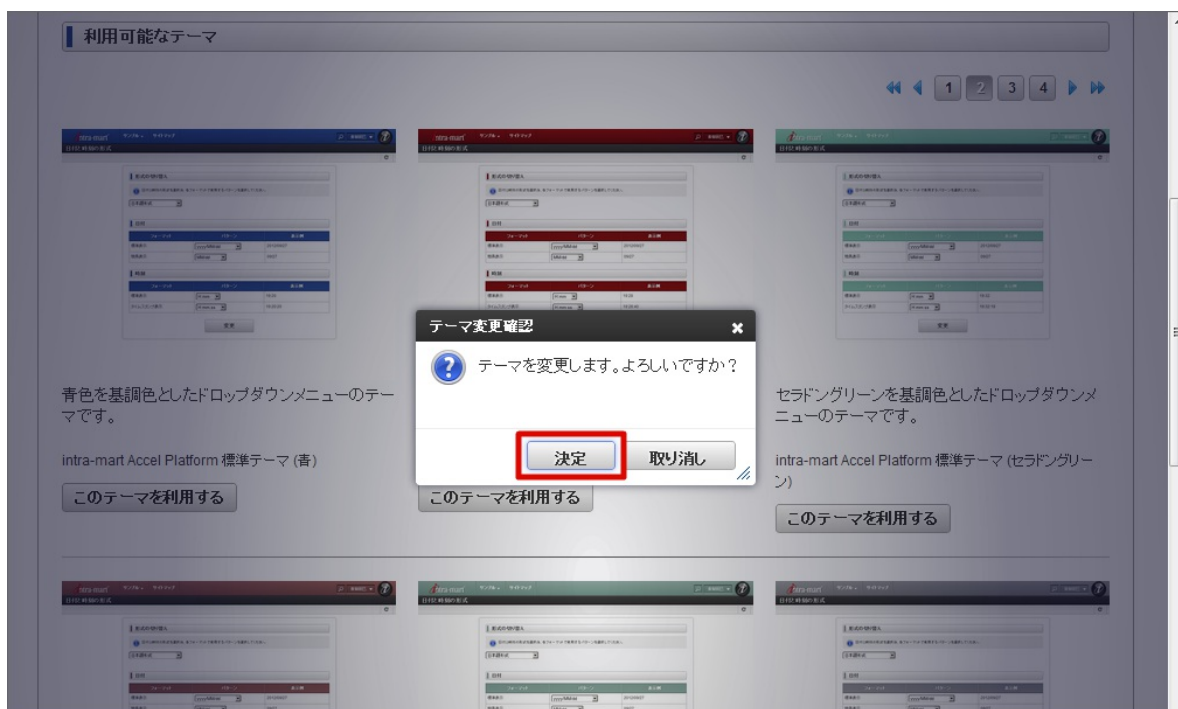
利用可能なテーマ

1 2 3 4

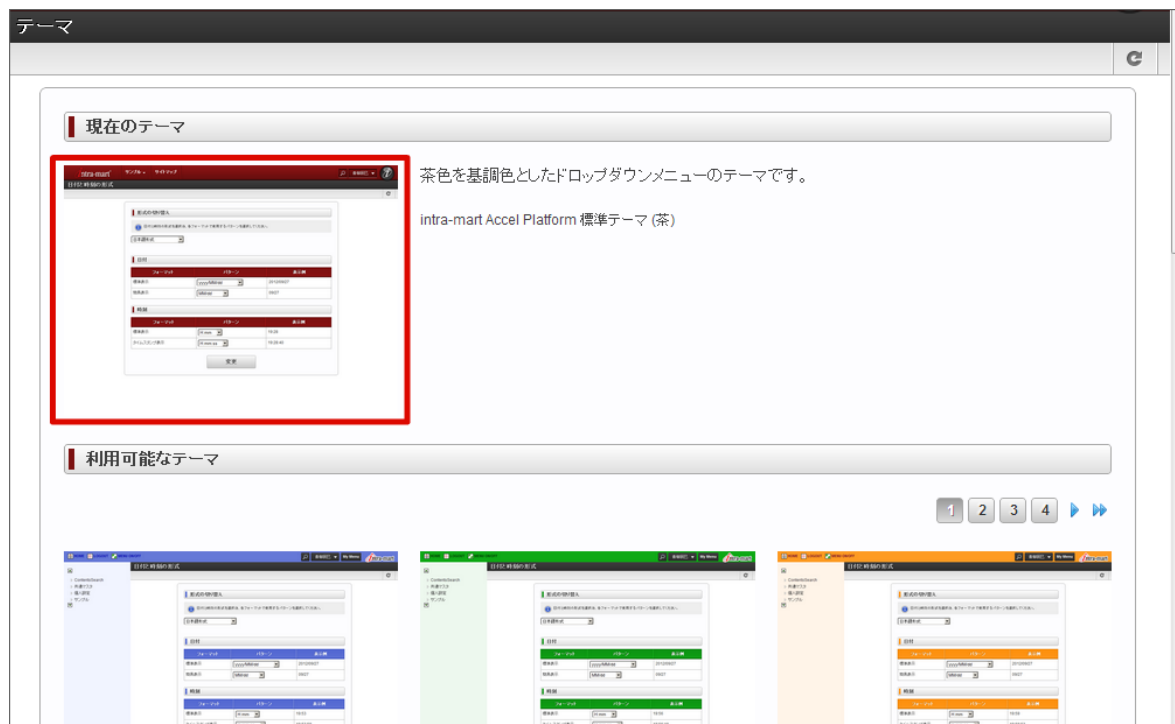
3. 利用したいテーマの「このテーマを利用する」をクリックします。



4. 「決定」をクリックします。



5. テーマを変更することができました。



バナーを隠す

システムの管理者から全ユーザに向けての通知（バナー）が画面上部に表示されることがあります。通知内容を確認した後、このバナーを隠すことができます。

1. 通知内容が表示されているバナーの右上にある「隠す」アイコンをクリックします。
ブラウザを再起動するまで隠す場合は、「ブラウザを再起動するまで隠す」ボタンをクリックします。



メニュー表示を設定する

グローバルナビやユーザ名表示エリア（ユーティリティメニュー）等の、メニューに対する表示設定を行うことができます。

グローバルナビを設定する

グローバルナビに表示するメニューの数を設定することができます。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「メニュー表示」の順にクリックします。
2. 「メニュー表示」画面が表示されます。

メニュー表示

グローバルナビ設定

グローバルナビ最大表示数*

デフォルト

ユーザ設定 5

ユーザ名表示エリア設定

デフォルトを選択すると、システムの設定が有効になります。
 固定するを選択すると、ユーザ名が長い場合は末尾を省略符号「...」で表示します。
 固定しないを選択すると、ユーザ名をすべて表示します。

ユーザ名表示エリア最大幅

デフォルト

固定する

固定しない

変更

- グローバルナビ最大表示数
 グローバルナビに表示したいメニューの数を選択します。

3. 「変更」をクリックします。

メニュー表示

グローバルナビ設定

グローバルナビ最大表示数*

デフォルト

ユーザ設定 3

ユーザ名表示エリア設定

デフォルトを選択すると、システムの設定が有効になります。
 固定するを選択すると、ユーザ名が長い場合は末尾を省略符号「...」で表示します。
 固定しないを選択すると、ユーザ名をすべて表示します。

ユーザ名表示エリア最大幅

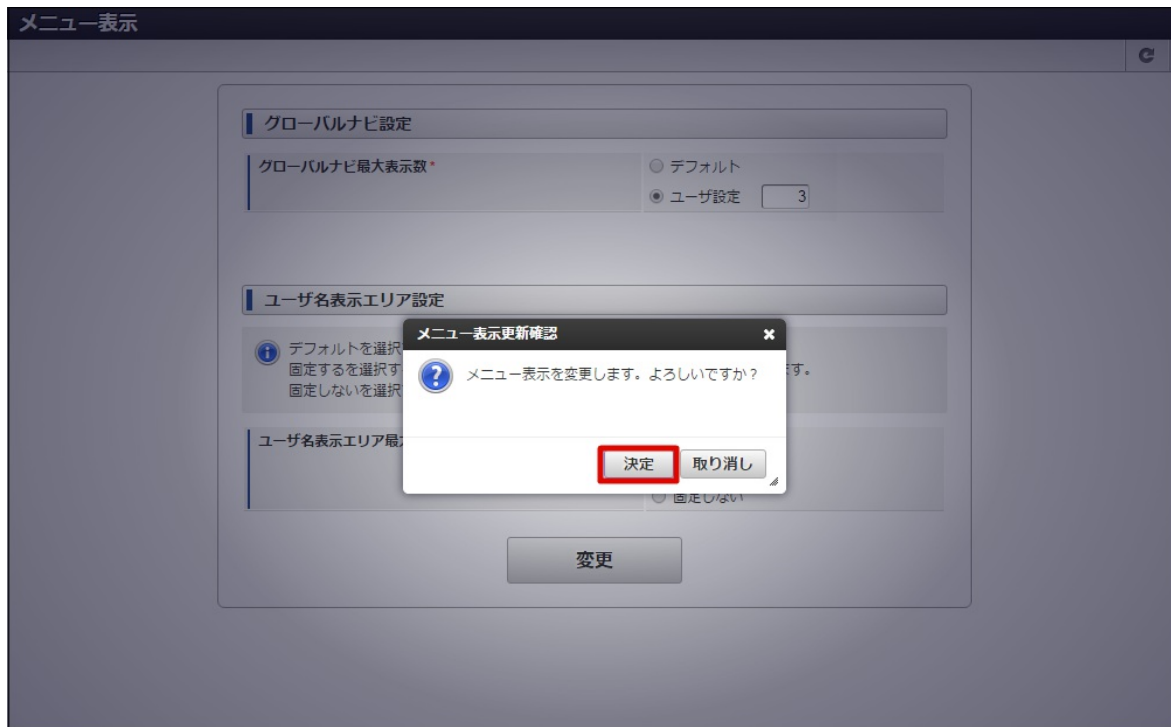
デフォルト

固定する

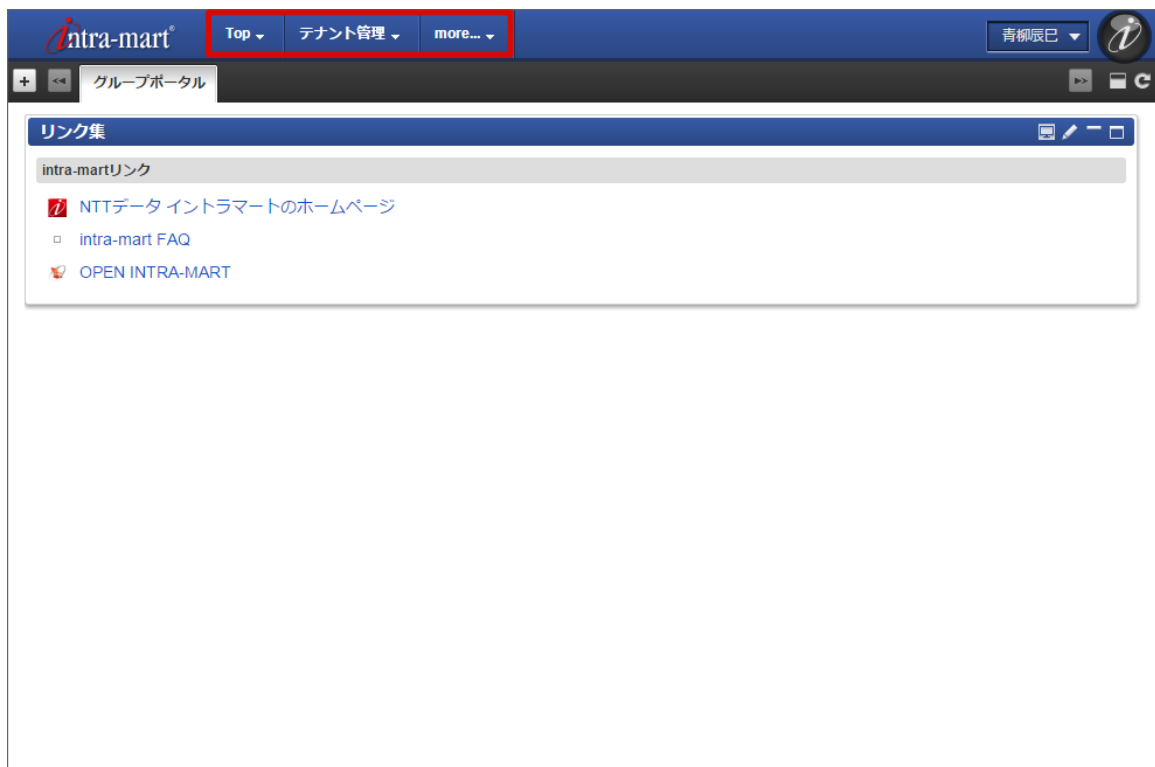
固定しない

変更

4. 「決定」をクリックします。



5. メニューの表示上限数を変更することができました。



コラム

表示上限数を越えた分のメニューは「more...」から見ることができます。



コラム

「デフォルト」を選択すると、テナントが持つ設定値を利用します。

ユーザ名表示エリアの最大幅を設定する

ユーザ名表示エリア（ユーティリティメニュー）の最大幅を設定することができます。ここでは、最大幅の設定をせず、ユーザ名をすべて表示する例を紹介します。

1. ユーザ名が長いユーザの場合はすべて表示されず「...」で省略されています。



2. 「サイトマップ」→「個人設定」→「メニュー表示」の順にクリックします。
3. 「メニュー表示」画面が表示されます。

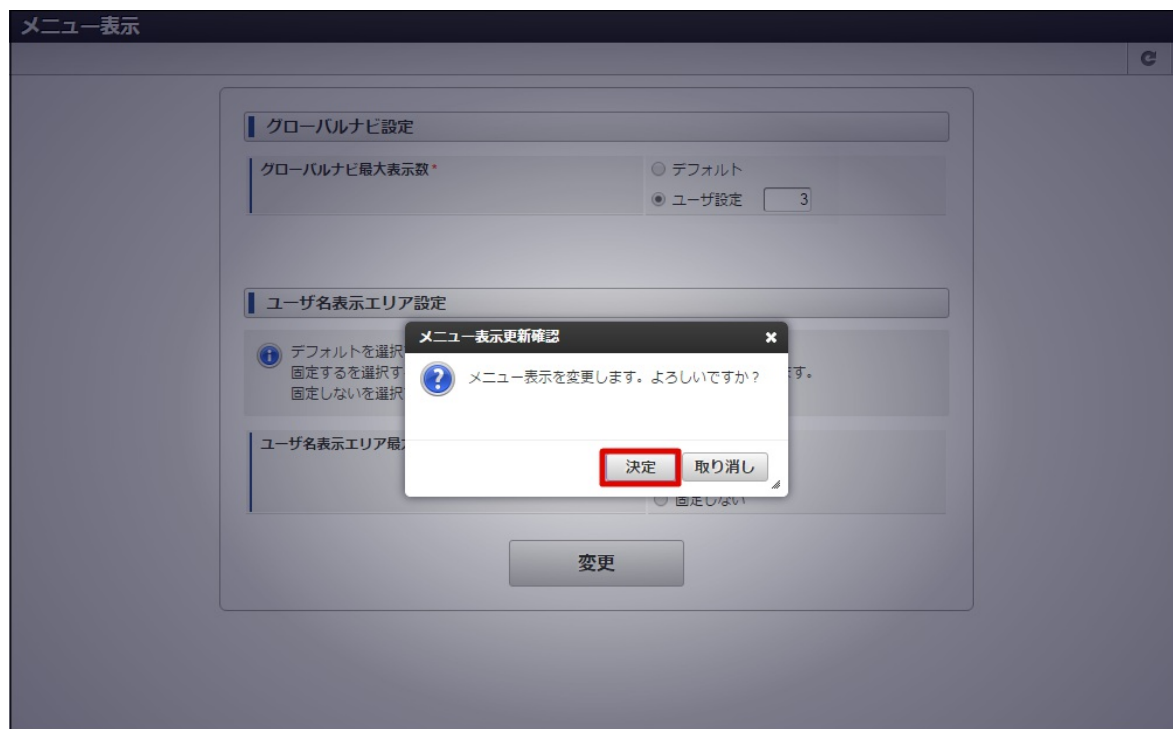


- ユーザ名表示エリア最大幅
「固定しない」を選択します。

4. 「変更」をクリックします。



5. 「決定」をクリックします。



6. ユーザ名が「...」で省略されず、すべて表示されるようになりました。



i コラム

ユーザ名が長い場合、グローバルナビと重なって表示される場合があります。その場合は、グローバルナビの最大表示数を調整したりユーザ名表示エリアの最大幅を設定したりして回避してください。

デスクトップ通知をダウンロードする

IM-Noticeのデスクトップ通知がダウンロードできます。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「デスクトップ通知」の順にクリックします。
2. 「IM-Notice for AccelPlatform のインストール画面」に移動します。
3. インストールボタンをクリックし、実行および保存をしてください。



4. インストールの詳細は「IM-Notice ユーザ操作ガイド（デスクトップ版）」-「インストール」に従ってインストールを行ってください。

プロフィールを編集する

個人のプロフィールを管理者に許可された範囲内で編集することができます。

**注意**

管理者に編集を許可されたプロフィール項目がひとつもない場合、自身のプロフィール情報の閲覧のみ行うことができます。

**注意**

登録されているロケールごとにプロフィール情報が存在します。それぞれのロケールの項目に編集内容を入力してください。

また、メールアドレスについては intra-mart Accel Platform の各アプリケーションによって配信や通知に利用されるため、すべてのロケールに同一の値を設定することを推奨致します。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「プロフィール」の順にクリックします。

2. 「プロフィール」画面が表示されます。

編集可能な項目のみテキストボックスに編集内容を入力可能です。

以下の場合、編集できる項目は「携帯電話番号」と「携帯メールアドレス」です。

プロフィール

プロフィール情報

ユーザコード	aoyagi
性別	男性

▼ 日本語

ユーザ名*	青柳辰巳
フリガナ	アオヤギ Tatsumi
国コード	
郵便番号	
住所1	
住所2	
住所3	
電話番号	
内線番号	
FAX番号	
内線FAX番号	
携帯電話番号	<input type="text"/>
メールアドレス1	
メールアドレス2	
携帯メールアドレス	<input type="text"/>
URL	
備考	

▶ 英語

▶ 中国語 (中華人民共和国)

更新

3. 編集する項目に編集内容を入力します。

それぞれのロケールの項目に入力してください。

プロフィール

プロフィール情報

ユーザコード	aoyagi
性別	男性

▼ 日本語

ユーザ名 *	青柳辰巳
フリガナ	アオヤギ タツミ
国コード	
郵便番号	
住所1	
住所2	
住所3	
電話番号	
内線番号	
FAX番号	
内線FAX番号	
携帯電話番号	<input type="text" value="080-0000-0000"/>
メールアドレス1	
メールアドレス2	
携帯メールアドレス	<input type="text" value="aoyagi@sample.com"/>
URL	
備考	

▶ 英語

▶ 中国語 (中華人民共和国)

更新

4. 「更新」をクリックします。

プロフィール

プロフィール情報

ユーザコード	aoyagi
性別	男性

▼ 日本語

ユーザ名 *	青柳辰巳
フリガナ	アオヤギ タツミ
国コード	
郵便番号	
住所1	
住所2	
住所3	
電話番号	
内線番号	
FAX番号	
内線FAX番号	
携帯電話番号	<input type="text" value="080-0000-0000"/>
メールアドレス1	
メールアドレス2	
携帯メールアドレス	<input type="text" value="aoyagi@sample.com"/>
URL	
備考	

▶ 英語

▶ 中国語 (中華人民共和国)

更新

5. 「決定」をクリックします。

プロフィール

プロフィール情報

ユーザコード aoyagi

性別 男性

日本語

ユーザ名*	青柳辰巳
フリガナ	アオヤギ タツミ
国コード	
郵便番号	
住所1	
住所2	
住所3	
電話番号	
内線番号	
FAX番号	
内線FAX番号	
携帯電話番号	
メールアドレス1	
メールアドレス2	
携帯メールアドレス	aoyagi@sample.com
URL	
備考	

英語

中国語 (中華人民共和国)

更新

更新確認

更新します。よろしいですか？

決定 取り消し

6. プロフィールを変更することができました。

プロフィール

更新しました。

プロフィール情報

ユーザコード	aoyagi
性別	男性

▼ 日本語

ユーザ名*	青柳辰巳
フリガナ	アオヤギ Tatsumi
国コード	
郵便番号	
住所1	
住所2	
住所3	
電話番号	
内線番号	
FAX番号	
内線FAX番号	
携帯電話番号	080-0000-0000
メールアドレス1	
メールアドレス2	
携帯メールアドレス	aoyagi@sample.com
URL	
備考	

▶ 英語

▶ 中国語 (中華人民共和国)

更新

メッセージ通知の設定を行う

アプリケーションやシステムからの通知に関する設定を行うことができます。
設定可能な内容は以下の通りです。

- 通知を受信するかどうか
- どの通知先に通知するか

注意

ここでは、「メッセージ通知設定画面」を利用した共通のメッセージ通知設定の方法について説明します。
この機能を利用するためには、アプリケーションがこの画面に対応している必要があります。
アプリケーションによっては独自の通知設定機能を利用している場合があります。
それぞれのアプリケーションのドキュメントを参照してください。

注意

メッセージ通知機能では、初期状態で全ての通知先に通知するように設定されています。
初めて利用する場合や、アプリケーションが追加された場合は、「メッセージ通知設定画面」の設定を確認し、必要な設定を行ってください。

メッセージ通知の設定を変更する

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「メッセージ通知」の順にクリックします。
2. 「メッセージ通知」画面が表示されます

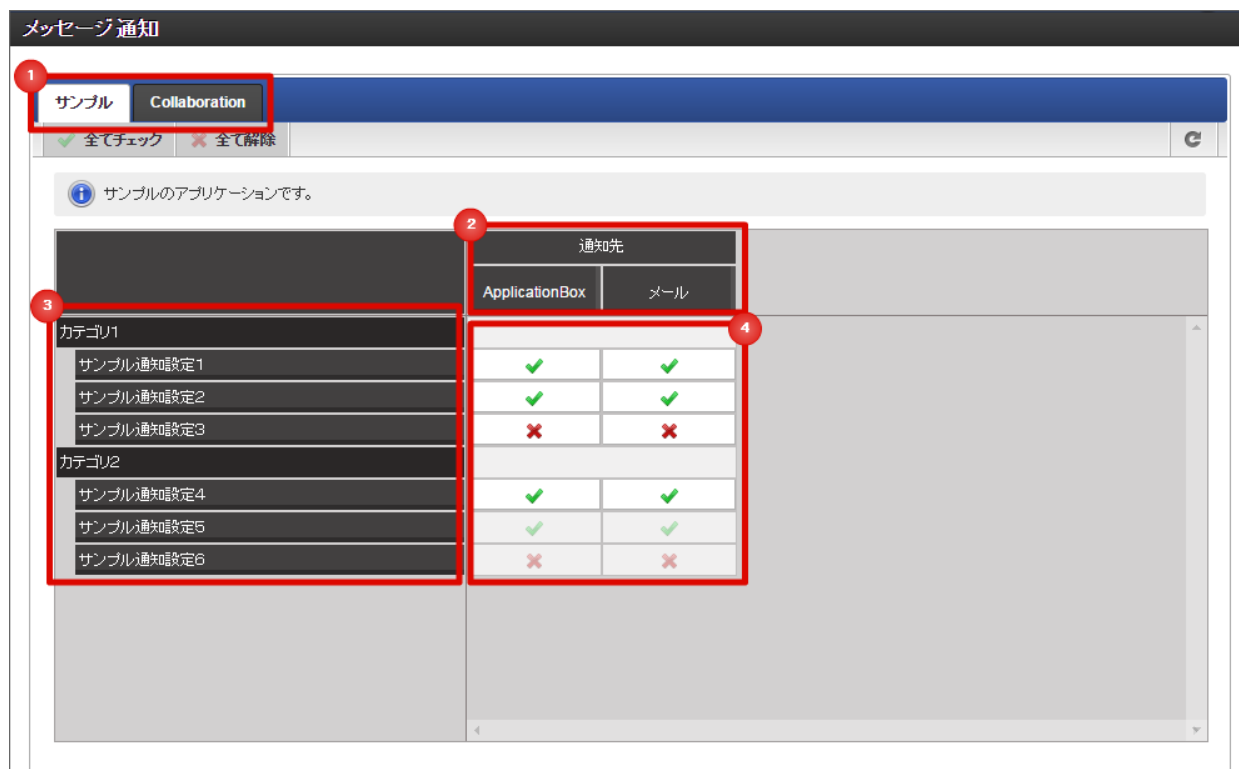


図 メッセージ通知設定画面

画面の表示項目の説明は、以下の通りです。

1. 画面上部に設定可能なアプリケーションの一覧が、タブとして表示されます。
2. 先頭の行に、受け取ることができる通知先の一覧が表示されます。
3. 左側の列に、通知されるタイミングの一覧が表示されます。
4. 表のセルに現在の通知設定が表示されます。
各アイコンの意味は以下の通りです。

アイコン	説明
✓	通知します。
✗	通知しません。
✓	通知します。 状態を変更できません。
✗	通知しません。 状態を変更できません。

3. タブに表示されているアプリケーションから、対象のアプリケーションのタブをクリックします。
4. 通知設定を変更したいセルをクリックします。
例として、「サンプリ通知設定1」-「ApplicationBox」のセルをクリックします。
5. 通知設定を変更することができました。

メッセージ通知

サンプル Collaboration

✓ 全てチェック ✕ 全て解除

📘 サンプルのアプリケーションです。

	通知先	
	ApplicationBox	メール
カテゴリ1		
サンプル通知設定1	✕	✓
サンプル通知設定2	✓	✓
サンプル通知設定3	✕	✕
カテゴリ2		
サンプル通知設定4	✓	✓
サンプル通知設定5	✓	✓
サンプル通知設定6	✕	✕

図 通知設定の変更結果

**注意**

設定はすぐに反映されます。
変更を元に戻すことはできません。

メッセージ通知の設定を一括で変更する

1. 通知設定を変更したいセルを選択します。

セルの選択方法は、以下の通りです。

- Ctrl キーを押しながらクリックすることで、複数のセルを選択できます。
- Shift キーを押しながらクリックすることで、はじめに選択していたセルから、クリックしたセルまでの範囲を選択することができます。
- ヘッドをクリックすることで、行選択、または、列選択することができます。
- ドラッグすることで、ドラッグした範囲を選択することができます。

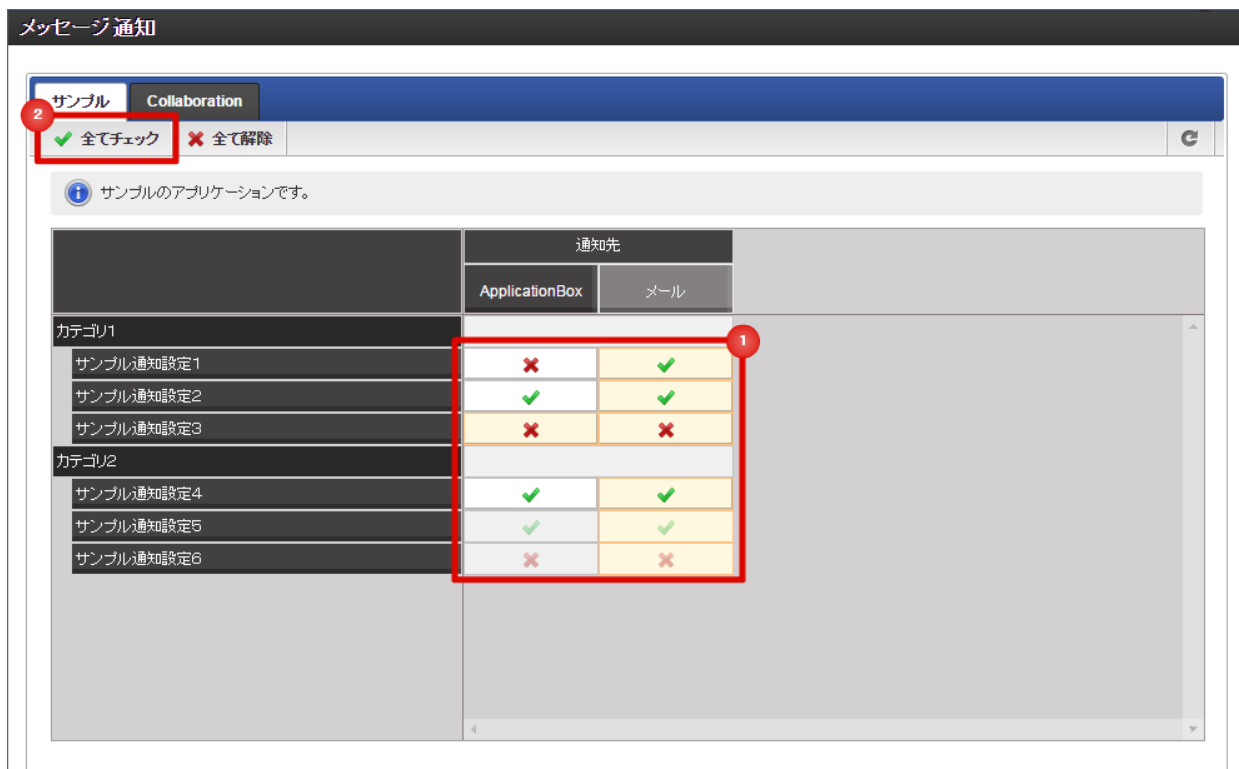


図 通知設定の選択

- 「全てチェック」をクリックします。
- 通知設定を変更することができました。

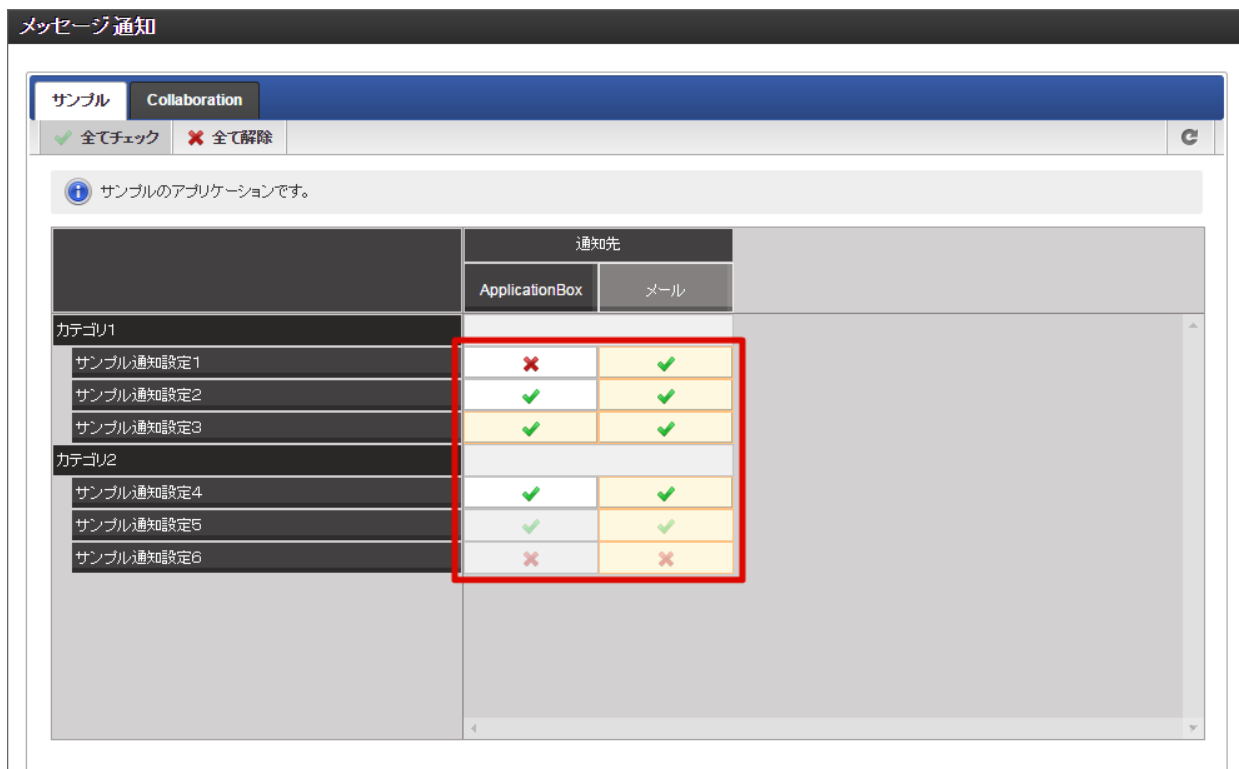


図 通知設定の一括変更結果



コラム

「メッセージ通知設定画面」の操作方法は、サイトツアー機能を利用して表示することもできます。
 「メッセージ通知設定画面」を表示した状態で、「ヘルプドロップダウン」-「ヘルプを表示する」をクリックしてください。

i コラム

「メッセージ通知設定画面」は、アプリケーションの画面からポップアップで開く場合があります。この場合は、アプリケーション選択のためのタブが表示されませんが、それ以外の機能は、通常の「メッセージ通知設定画面」と同じです。

サイトツアーを呼び出す

画面に埋め込まれた簡易ヘルプをヘルプドロップダウンから呼び出すことができます。

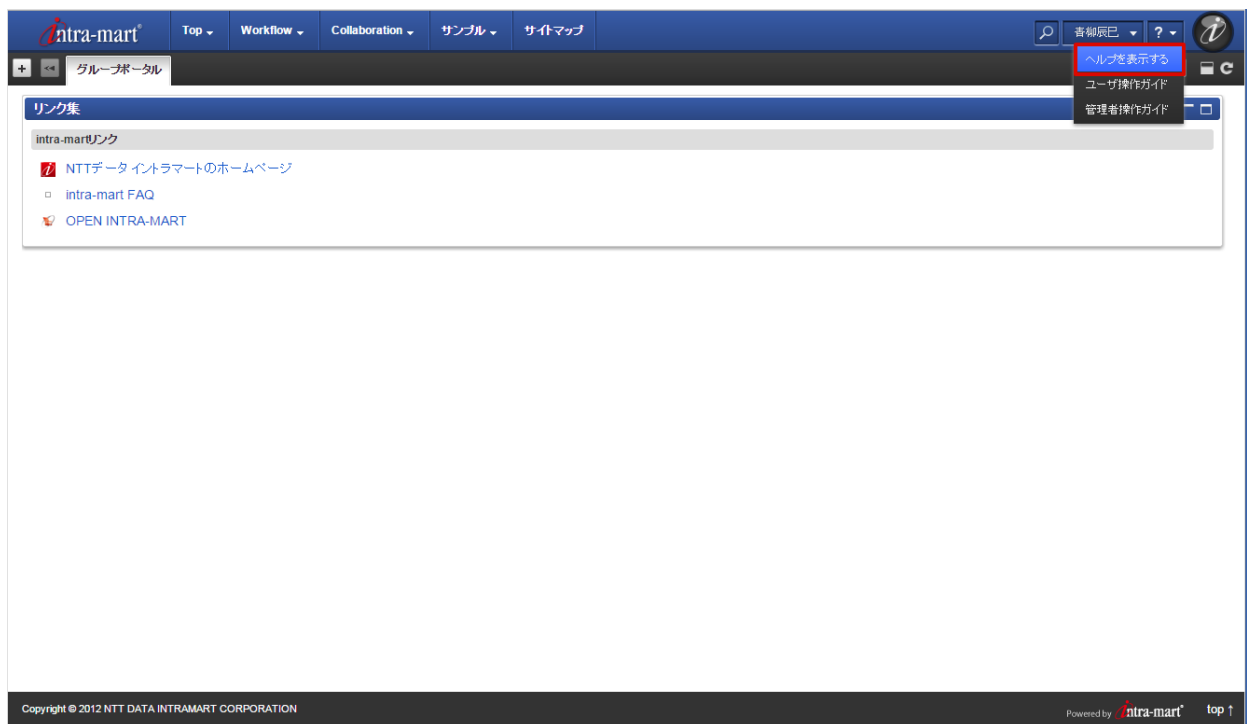
! 注意

以下のいずれかに該当する場合、サイトツアーが実行できません。

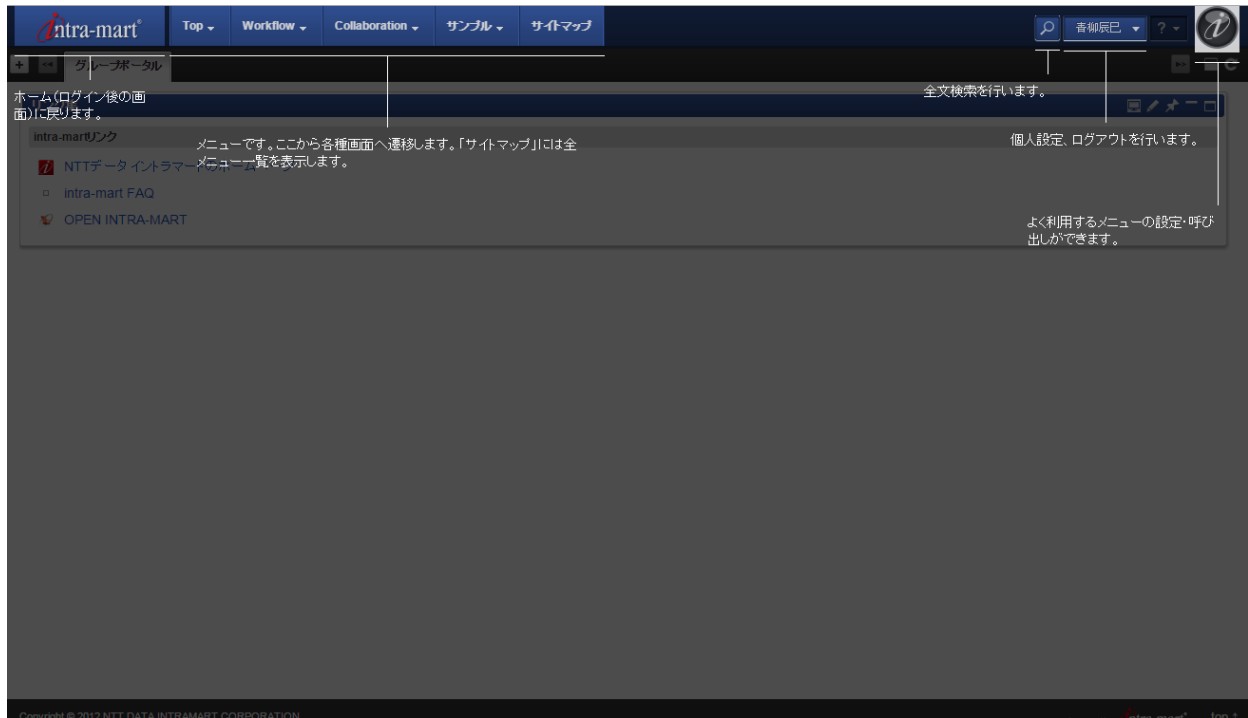
- 画面にヘルプメッセージが埋め込まれていない場合
- ヘルプメニューに認可が許可されていない場合

ヘルプドロップダウンから呼び出す

1. 「ヘルプドロップダウン」→「ヘルプを表示する」の順にクリックします。



2. ヘルプメッセージが表示されました。



コラム

背景の黒い部分をクリックするとサイトツアーを終了します。
キーボードのエスケープキーでも終了できます。



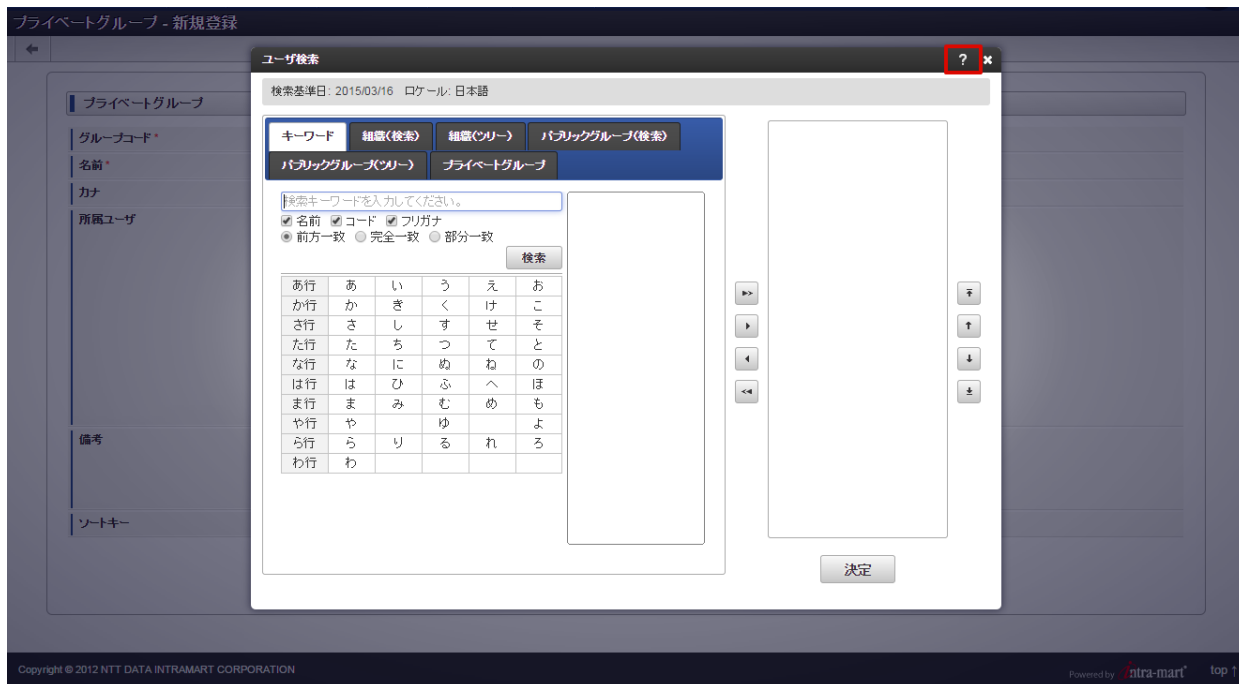
コラム

ステップ表示の場合はキーボードでステップの操作が行えます。
右矢印キーで次のステップに移動、左矢印キーで前のステップに移動ができます。

共通マスタダイアログから呼び出す

共通マスタのユーザ検索ダイアログにはサイトツアーが埋め込まれています。
ここでは、「プライベートグループ新規作成」画面のユーザ検索ダイアログを例にします。

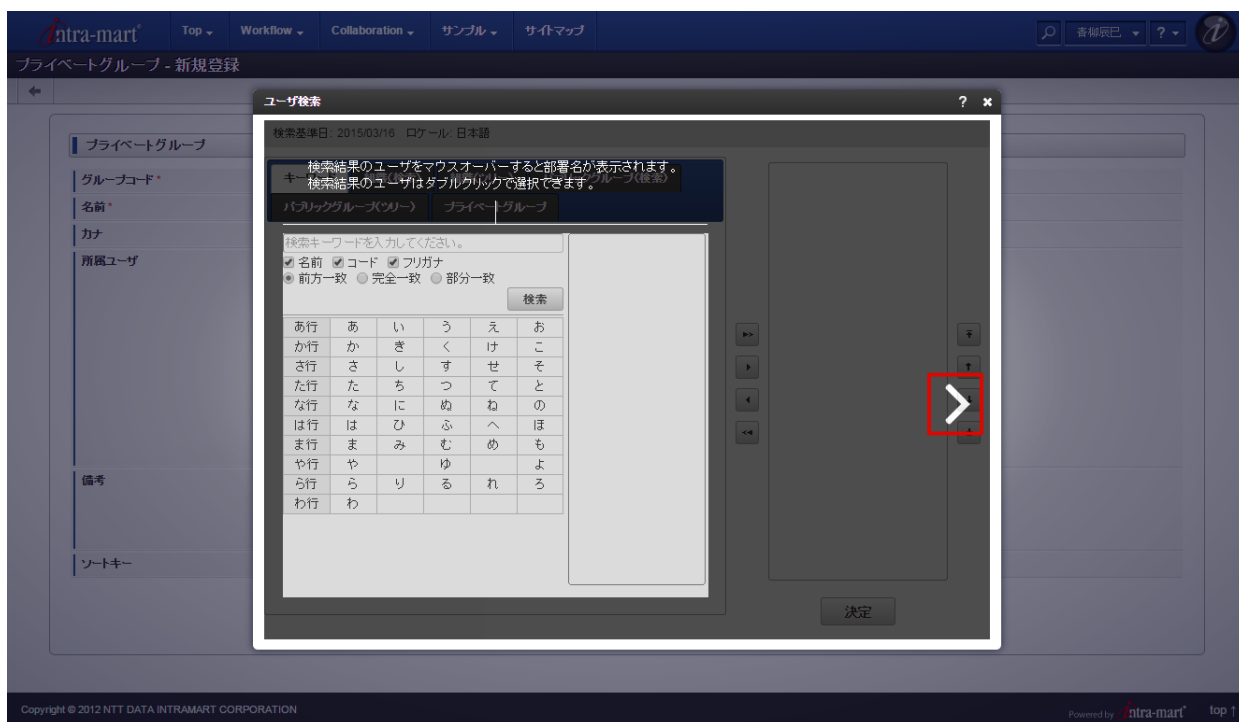
1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「プライベートグループ」の順にクリックし、「プライベートグループ一覧」画面を表示します。
ツールバーの「新規作成」→「ユーザ検索」の順にクリックします。



2. ヘルプメッセージが表示されました。

右下にステップメニュー、または画面内の右矢印アイコンが部分が表示される場合は、サイトツアーがステップ表示で呼び出されています。

右矢印アイコンをクリックすることで、次のステップに進みます。



3. 次のステップに進み、新しいヘルプメッセージが表示されました。



4. 次のステップに進み、新しいヘルプメッセージが表示されました。



コラム

背景の黒い部分をクリックするとサイトツアーを終了します。
キーボードのエスケープキーでも終了できます。



コラム

ステップメニューはダイアログ内のコンテンツに応じて表示・非表示を制御できるため、表示される場合があります。
共通マスタではステップメニューは表示されません。
ステップメニューでは、次のステップを表示、前のステップを表示、サイトツアーの終了が操作できます。
以下がステップメニューです。



IMBoxの設定を行う

IMBoxの個人設定を変更することができます。

「サイトマップ」→「個人設定」→「IMBox」の順にクリックします。

図 IMBoxの個人設定

コラム

IMBoxの個人設定についての操作方法は、「IMBox ユーザ操作ガイド」-「個人設定を編集する」を参照してください。

注意

IMBoxの個人設定は、intra-mart Accel Platform 2015 Winter(Lydia) からご利用いただけます。

プロフィールを変更する

IMBoxに表示するプロフィールを変更することができます。

項目説明

項番	項目名	説明
1.	IMBox表示名	IMBoxで表示するユーザ名です。
2.	自己紹介	IMBoxで表示するユーザの自己紹介です。
3.	写真	IMBoxで表示するユーザのアイコンです。

通知設定を変更する

IMBoxで利用する通知の設定を変更することができます。

IMBox

プロフィール

IMBox表示名 * 青柳辰巳

自己紹介 よろしくお願ひします。

写真

+ ファイル追加... × 中断 削除

通知

メール送信先 メールアドレス1 メールアドレス2

アプリケーション通知, メール通知 [メッセージ通知](#)

投稿

初期選択投稿先 サンプル会社

チャット

宛先ユーザー一覧 表示する 表示しない

新着チャットメッセージ受信時 チャットを開く

変更

項目説明

項番	項目名	説明
1.	メール送信先	IMBoxで送信する通知メールの送信先です。 送信メールアドレスはIM-共通マスタに設定されているメールアドレス1、および、メールアドレス2を使用します。
2.	アプリケーション通知, メール通知	IMBoxのメッセージ通知画面に遷移します。 メッセージ通知に関する詳細は、「 IMBox ユーザ操作ガイド 」-「 通知を設定する 」および「 一般ユーザ操作ガイド 」-「 メッセージ通知の設定を行う 」を参照してください。

投稿設定を変更する

IMBoxの投稿に関する設定を変更することができます。

項目説明

項番	項目名	説明
1.	初期選択投稿先	MyBoxの投稿先の初期値を設定することができます。 投稿先に設定したグループから離脱・除名または、グループが削除された場合は、ユーザの所属会社が標準で選択されます。

チャット設定を変更する

チャット機能に関する設定を変更することができます。

注意

IMBox管理者によりチャット機能の利用を無効化されている場合、この項目は表示されません。
チャット機能の管理者権限に関する詳細は、「[IMBox 管理者操作ガイド](#)」-「[チャット](#)」を参照してください。

項目説明

項番	項目名	説明
1.	宛先ユーザー一覧	宛先ユーザー一覧の表示可否を設定することができます。
2.	新着チャットメッセージ受信時	新着チャットメッセージ受信時のチャットの動作を設定することができます。

コラム

宛先ユーザー一覧を「表示しない」、かつ、新着チャットメッセージ受信時を「何もしない」を選択した場合、メッセージ (Direct Message) の「もっと」メニューに「チャットで開く」が表示されなくなります。

数値形式を設定する

利用する数値の形式を設定することができます。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「数値形式」をクリックします。
2. 「数値形式」画面が表示されます。



- 数値形式
数値の形式を選択します。

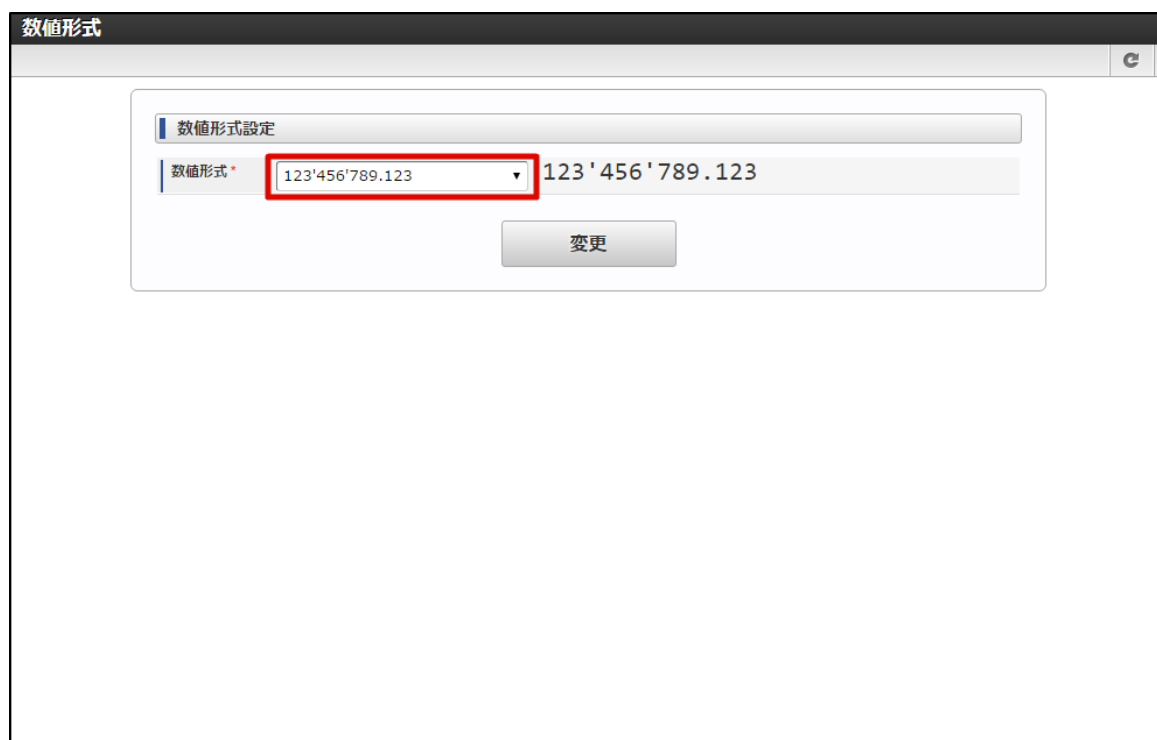
3. 「変更」をクリックします。



4. 「決定」をクリックします。



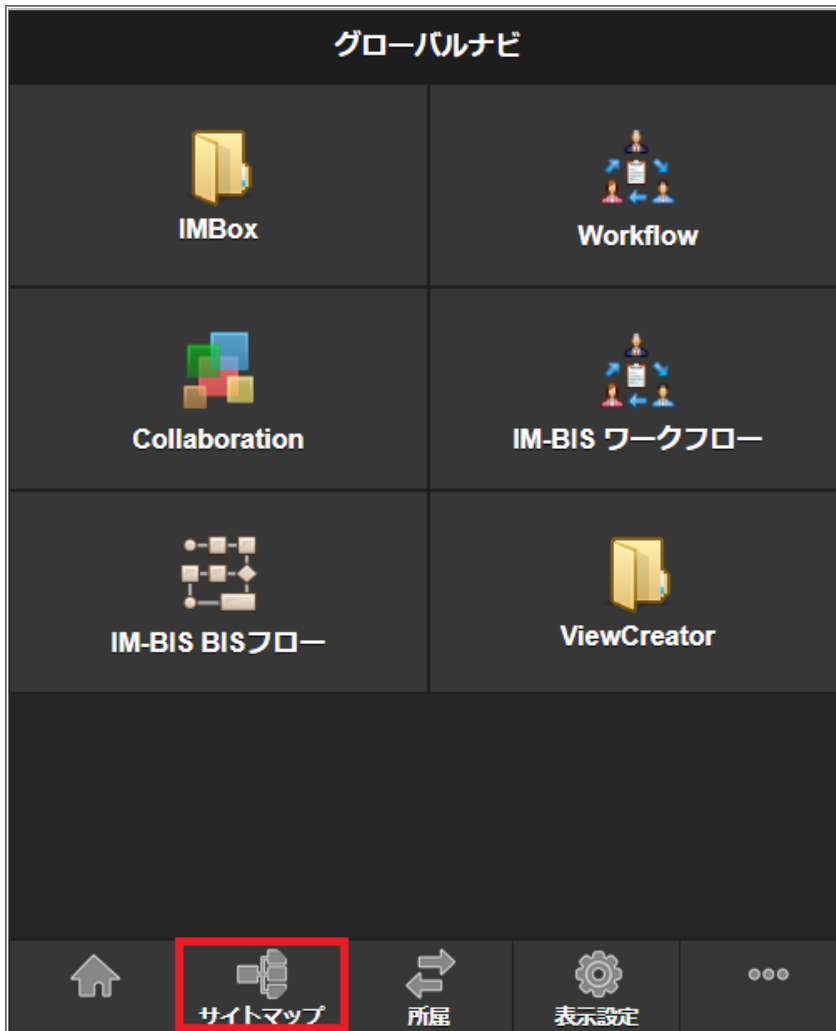
5. 数値形式を変更することができました。

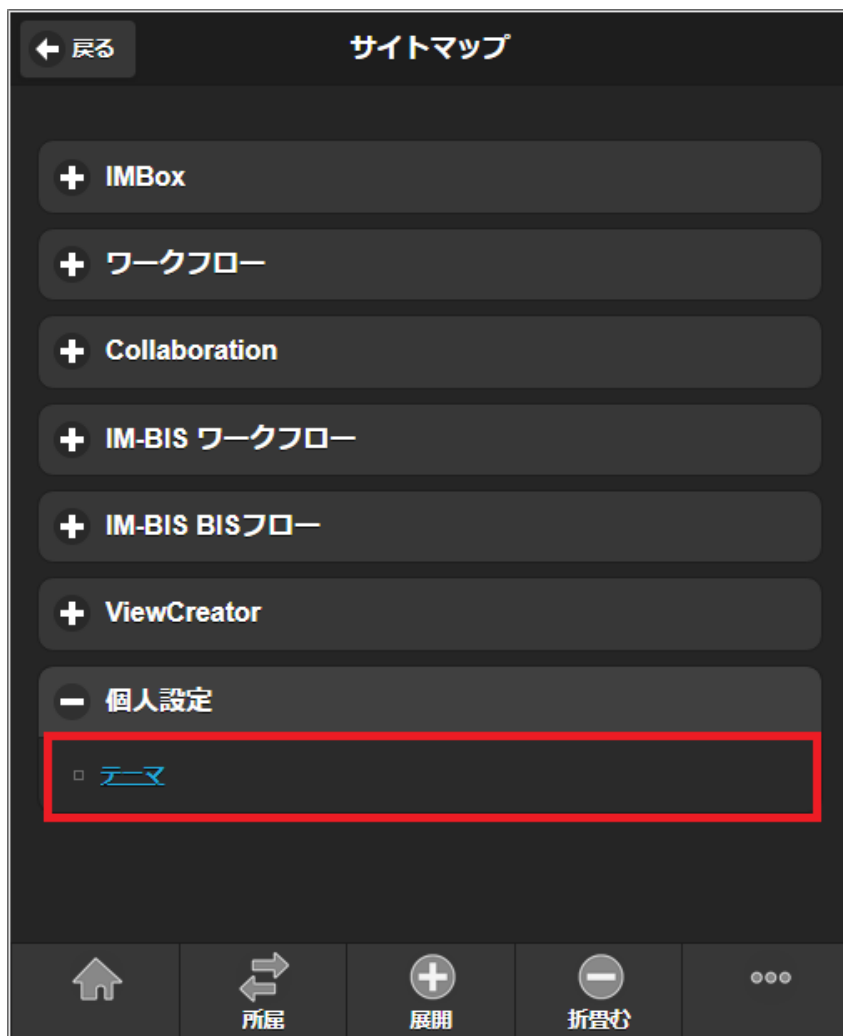


テーマを設定する

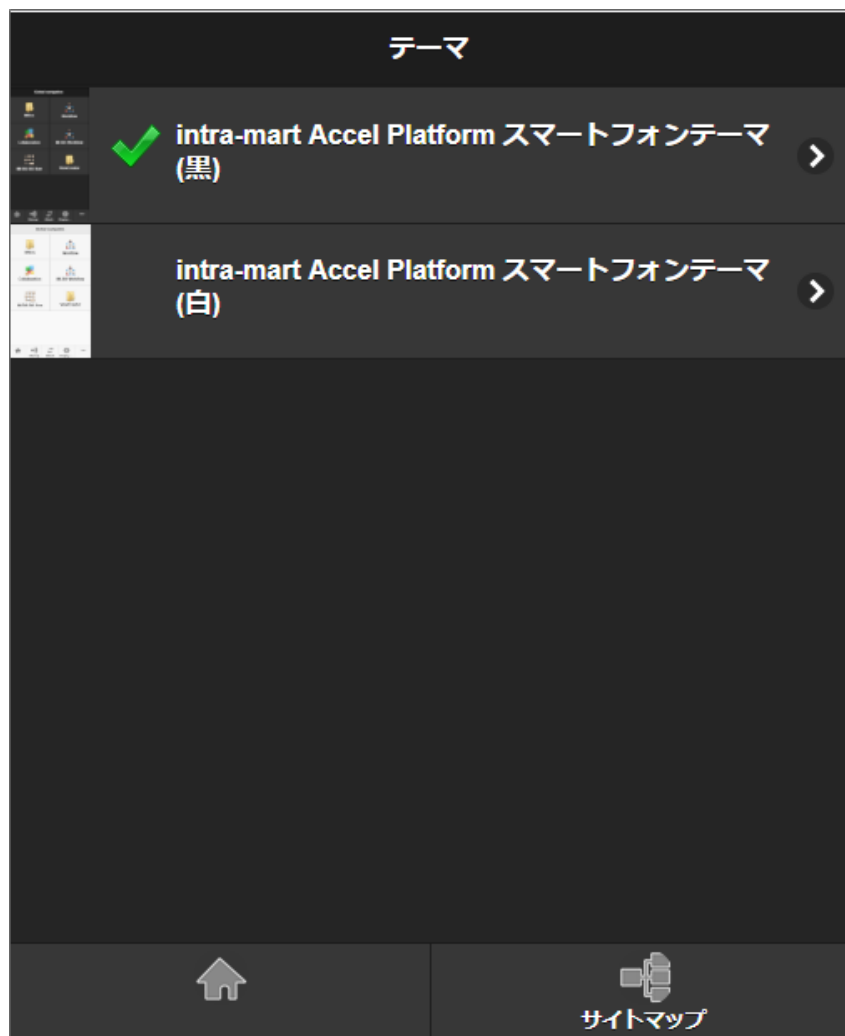
利用するテーマの設定ができます。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「テーマ」の順にクリックします。

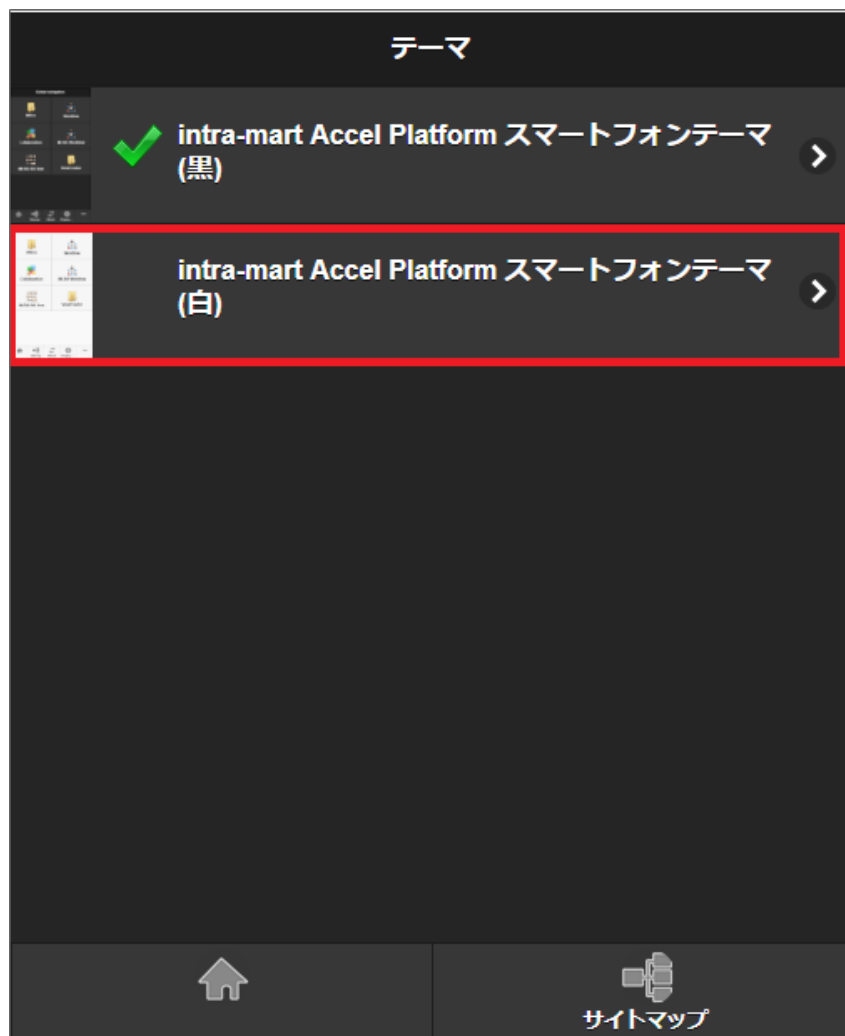




2. 「テーマ」画面が表示されます



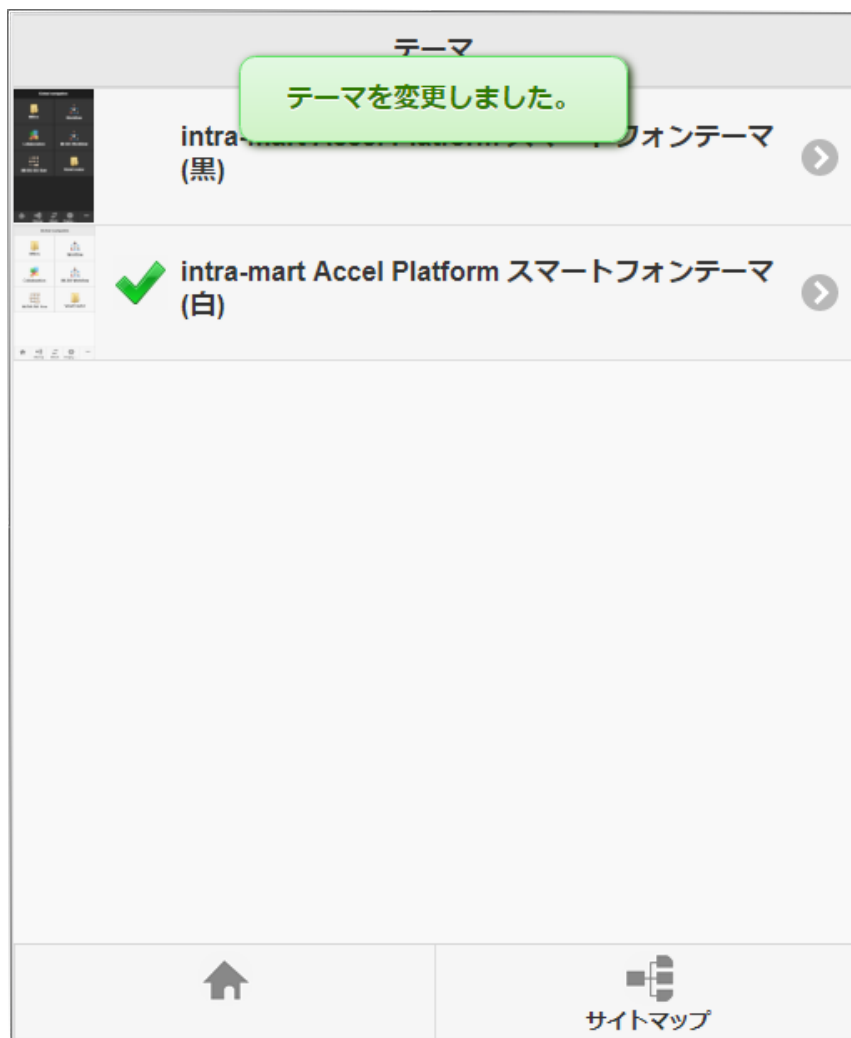
3. 利用したいテーマをクリックします。



4. 「決定」をクリックします。



5. テーマの変更ができました。



応用編

プライベートグループを設定する

ユーザが自由にプライベートグループを登録・管理することができます。

プライベートグループを利用すると、ユーザ検索でユーザを簡単に探し出せるようになるなどの効果があります。

プライベートグループを設定する

1. 「サイトマップ」→「共通マスタ」→「プライベートグループ」をクリックします。
2. 「プライベートグループ一覧」画面が表示されます。



3. 「新規作成」をクリックします。



4. 「プライベートグループ-新規作成」画面が表示されます。

プライベートグループ - 新規登録

←

プライベートグループ

グループコード * 5i49uc9lm9j9qk1

名前 *

カナ

所属ユーザ

ユーザ検索

所属ユーザー一覧

ユーザコード	名前	ソート番号	削除

備考

ソートキー 0

登録

- 所属ユーザ
「ユーザ検索」をクリックすると「ユーザ検索」画面が表示されます。

5. 「登録」をクリックします。

プライベートグループ - 新規登録

←

プライベートグループ

グループコード * badminton

名前 * バドミントンサークル

カナ バドミントンサークル

所属ユーザ

ユーザ検索

所属ユーザー一覧

ユーザコード	名前	ソート番号	削除
sekine	関根千香	0	×
ueda	上田辰男	0	×
ohiso	大磯博文	0	×

備考

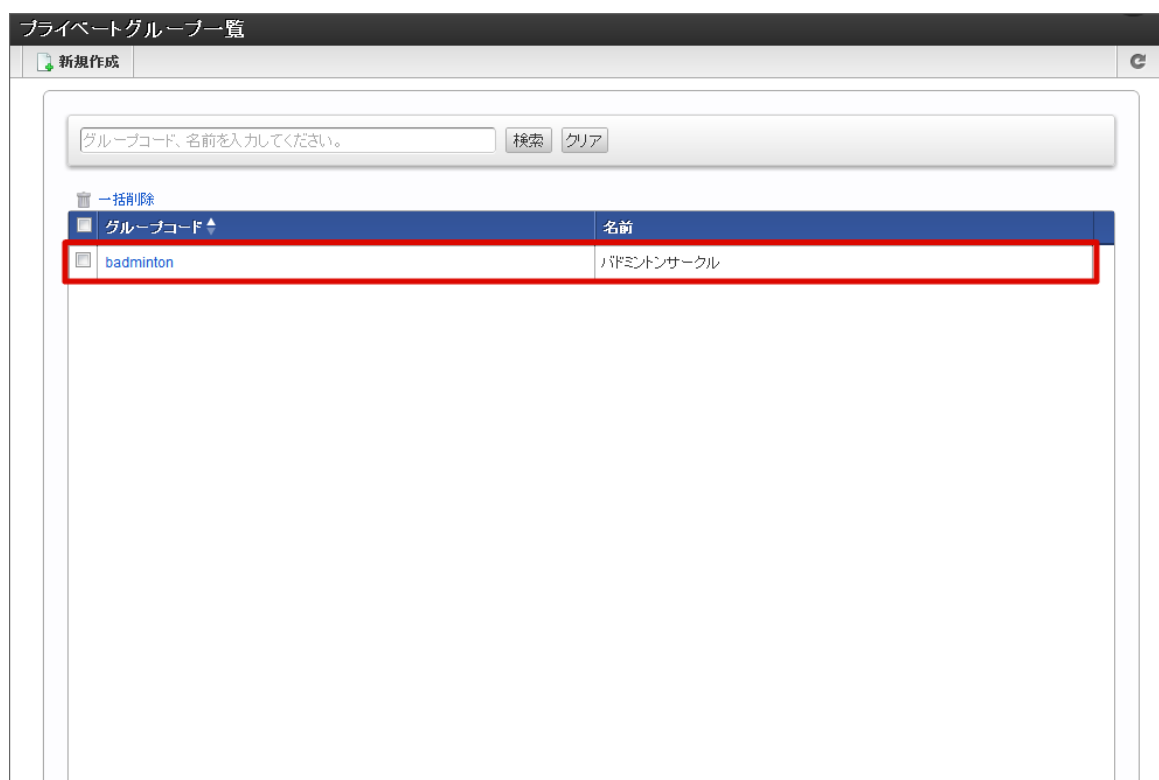
ソートキー 0

登録

6. 「決定」をクリックします。



7. プライベートグループを設定することができました。



コラム

編集する場合

編集対象のグループコードをクリックします。



コラム

削除する場合

1. 削除対象のプライベートグループにチェックを入れます。
2. 「一括削除」をクリックします。

マイメニューを設定する

intra-mart Accel Platform で使用できるメニューには以下の種類があります。

- グローバルナビ
一般ユーザが普段よく使うであろうメニューを画面上部に登録する機能です。
画面上部のメニューエリアに表示され、目的のページに素早くアクセスすることが可能です。
また、認可を設定することで公開範囲を制限することができます。
- サイトマップ
グローバルナビから参照できる機能です。
ログインユーザが利用できる全てのサービスが一覧表示されます。
- マイメニュー
ログインユーザごとにオリジナルメニューを作成できる機能です。
ログインユーザ自身でサービスの登録をおこないます。

この手順では「マイメニュー」について説明します。「マイメニュー」は以下の単位でメニュー構成を管理します。

- メニューグループ
メニューフォルダ、メニューアイテムをまとめて管理することができます。
グローバルナビには、メニューグループ単位で表示されます。
- メニューフォルダ
同一メニューグループ内でメニューアイテムを階層管理することができます。
- メニューアイテム
メニューから各種機能を利用するためには、メニューグループカテゴリにメニューアイテムを登録する必要があります。
メニューアイテムのリンク先のURLにアクセス権が設定されている場合のみ、画面上（グローバルナビ、サイトマップ等）に表示されます。

目次

- [マイメニュー表示する](#)
- [マイメニューにサービスを追加する](#)
- [マイメニューにフォルダとアイテムを作成する](#)

マイメニュー表示する

1. 画面右上のランチャーをクリックします。



2. マイメニューが表示されました。



マイメニューにサービスを追加する

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「マイメニュー」の順にクリックします。
2. 「マイメニュー設定」画面が表示されます。



3. 右側の「メニューグループカテゴリ」より、追加したいサービスが存在するメニューグループカテゴリを選択します。



4. 登録したいサービスをドラッグアンドドロップします。



5. サービスをマイメニューに追加することができました。



コラム

削除する場合

1. 対象のアイテムをクリックします。
2. 「削除」アイコンをクリックします。

メニューフォルダを作成し、その中に任意のURLを設定したメニューアイテムを追加することができます。

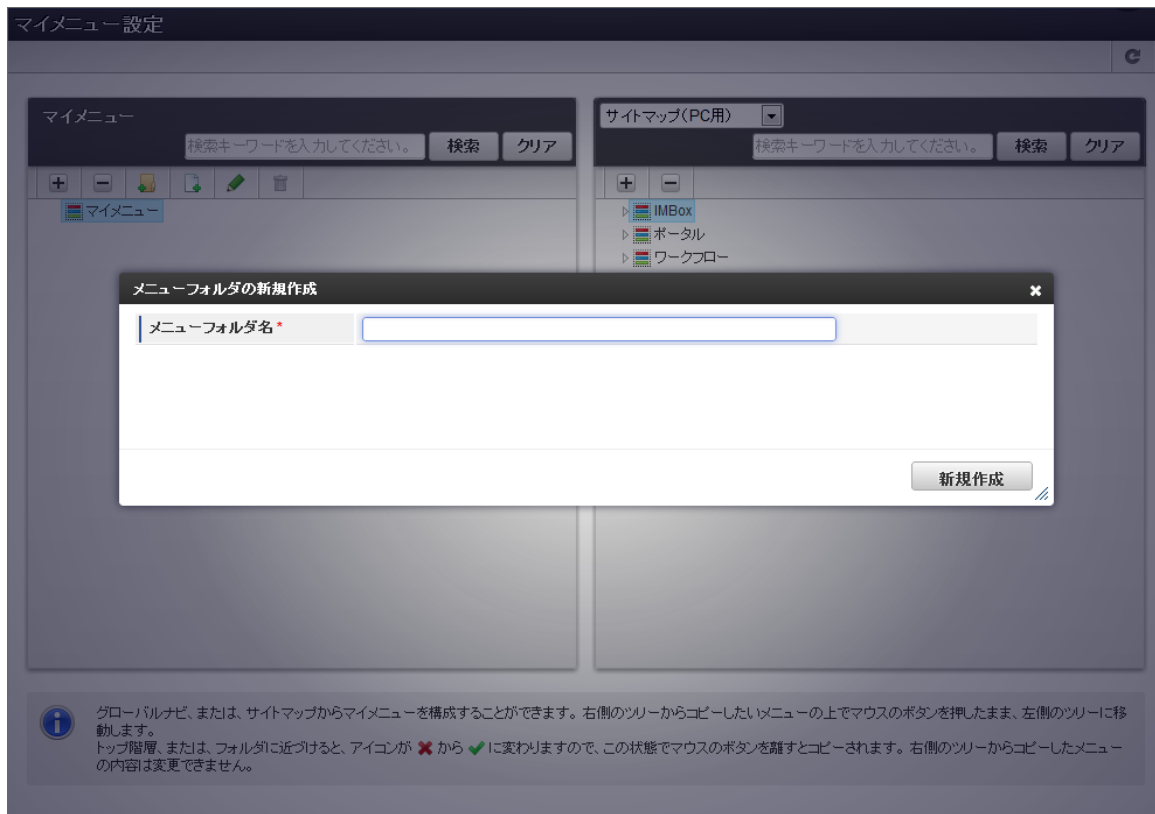
1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「マイメニュー」の順にクリックします。
2. 「マイメニュー設定」画面が表示されます。



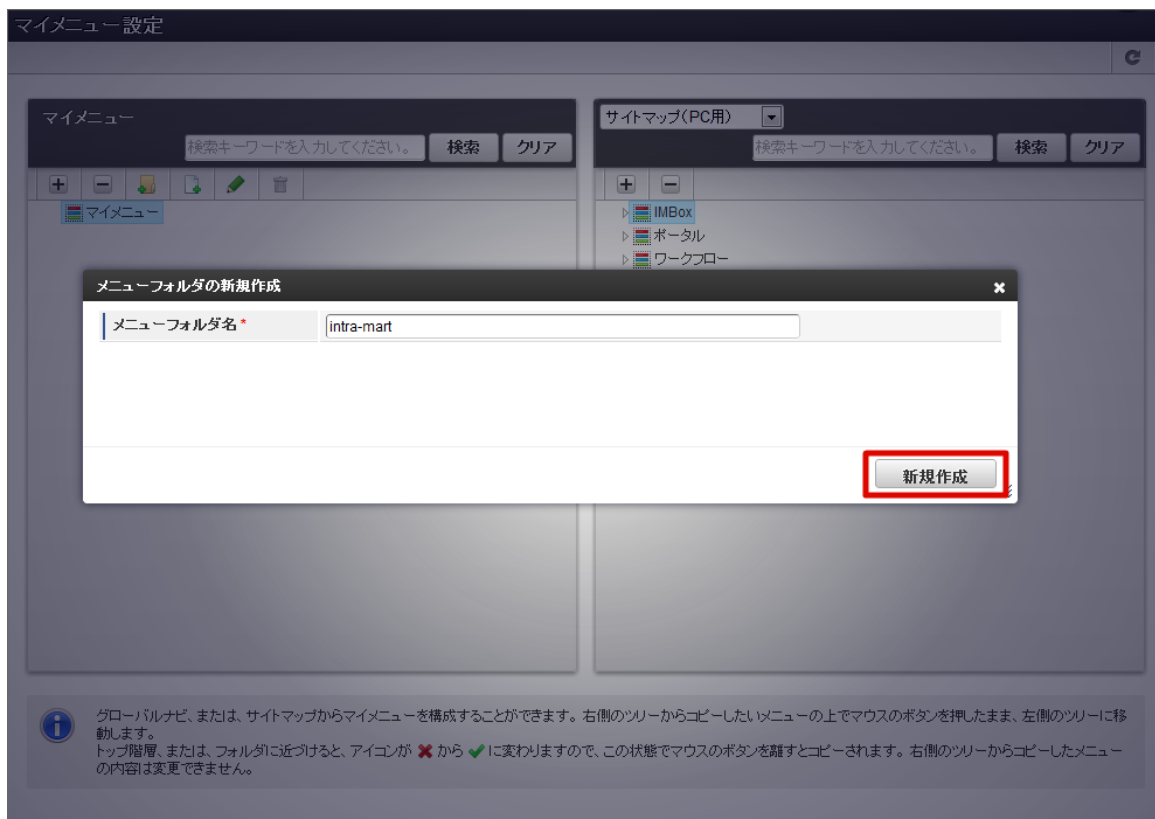
3. 「メニューフォルダの新規作成」アイコンをクリックします。



4. 「メニューフォルダの新規作成」画面が表示されます。



5. 「新規作成」をクリックします。



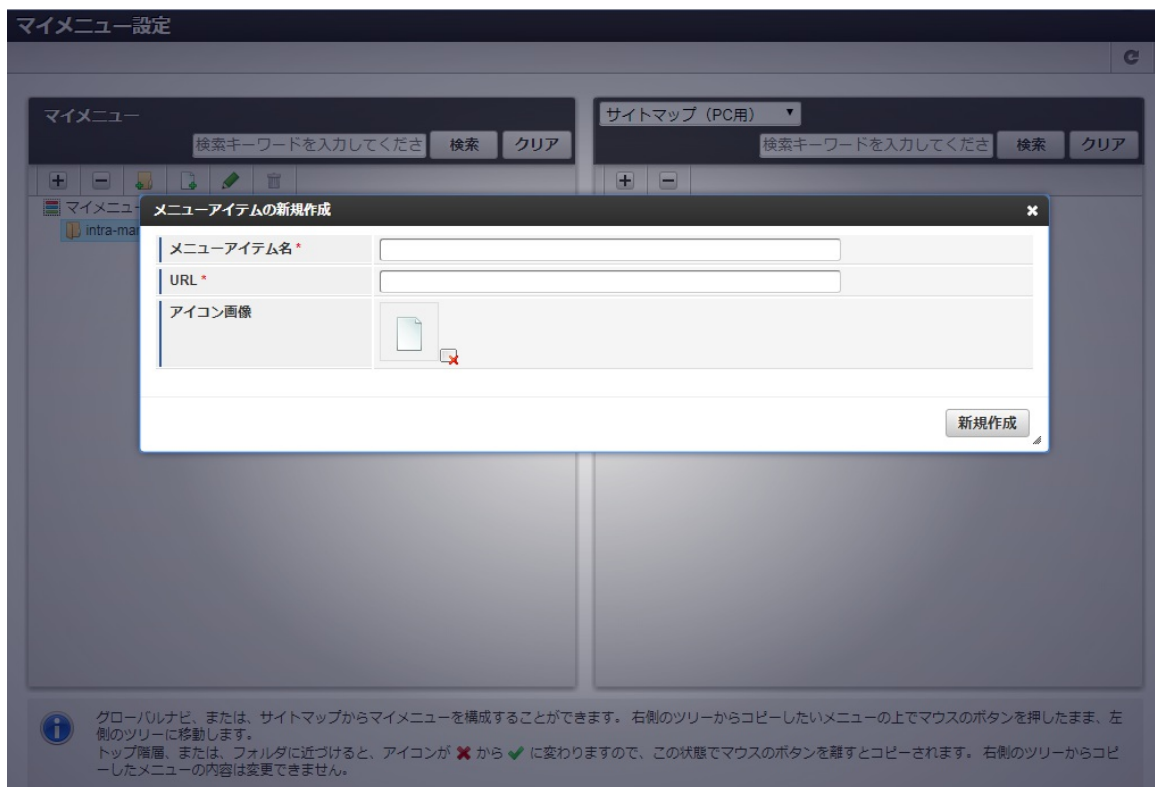
6. メニューフォルダが作成されました。
次にメニューアイテムを追加するために、作成したメニューフォルダをクリックします。



7. 「新規アイテム」アイコンをクリックします。

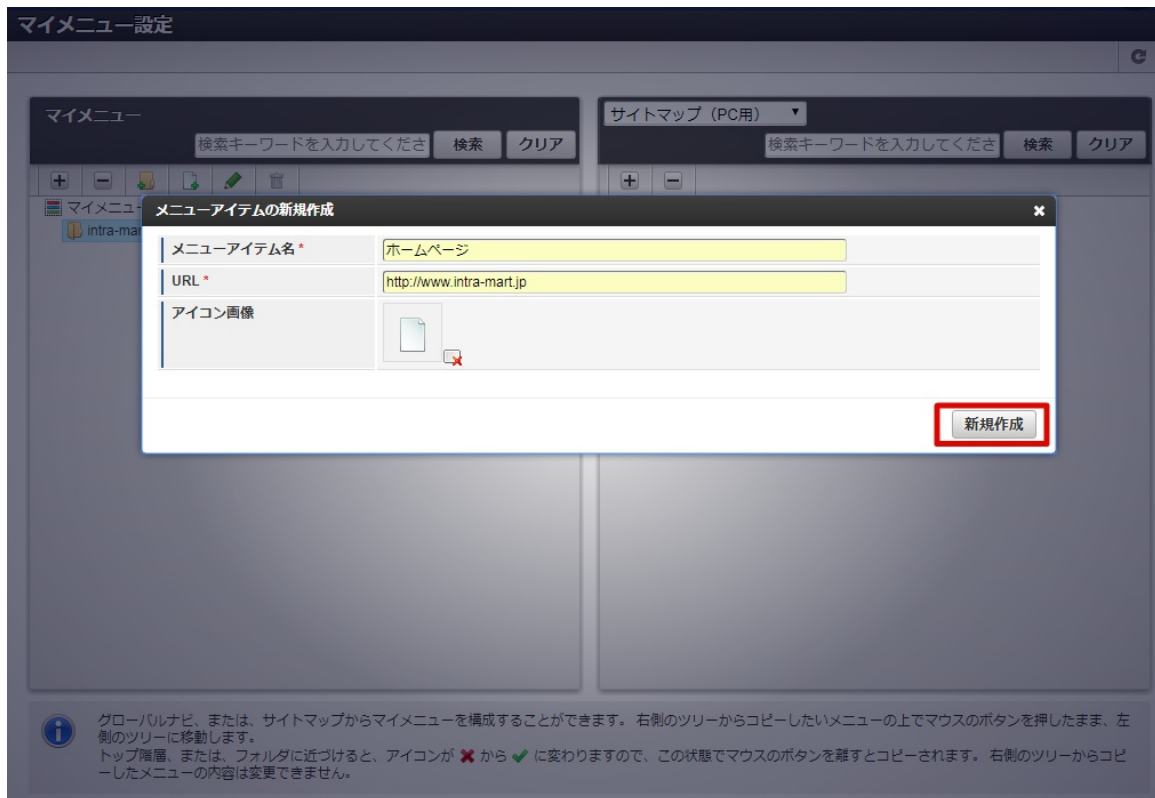


8. 「メニューアイテムの新規作成」画面が表示されます。



- メニューアイテム名
マイメニュー上に表示される名前です。
- URL
リンクとなるURLを指定します。
- アイコン画像
マイメニュー上に表示されるアイコンです。

9. 「新規作成」をクリックします。



10. マイメニューにメニューフォルダとメニューアイテムを作成することができました。



サイト内のキーワードを検索する

intra-mart Accel Platform 内の文字列を検索することができます。



コラム

この機能はIM-ContentsSearchを導入されている場合のみ使用できます。

■ グローバルナビの検索アイコンから検索する

1. 画面右上の検索アイコンをクリックします。



2. 赤枠内に検索したいキーワードを入力します。



3. 「検索」をクリックすると、検索結果が表示されます。

■ 全文検索画面で検索する

1. サイトマップの「全文検索」をクリックします。



2. 画面上部のテキストボックスに検索したいキーワードを入力します。



3. 「検索」をクリックすると、検索結果が表示されます。

■ 検索結果を絞り込む

絞り込み条件内のカテゴリを選択することで、検索結果を絞り込むことができます。



詳細な条件を指定して検索する

全文検索画面の「詳細検索」ボタンをクリックすると、検索オプションを利用した検索を行うことができます。同時に複数の検索条件で検索を行う場合は、この検索方法が便利です。また、検索オプションでは検索結果の表示方法を指定することができます。

検索キーワード ✖ クリア

全てのキーワードを含む:

語順も含め完全一致:

いずれかのキーワードを含む:

含めないキーワード:

詳細条件 ✖ クリア

コンテンツの種類:

検索対象:

最新更新日: 指定なし 24時間以内 1週間以内 1ヶ月以内 日以内

ページあたりの表示件数:

並び替え:

要約表示: 表示する

詳細検索

検索キーワード

- すべてのキーワードを含む
一つ以上の検索語句をスペース区切りで入力することで、指定したすべての検索語句を含む情報を検索します。
- 語順も含め完全一致
入力した検索語句を一つのフレーズとして検索します。
- いずれかのキーワードを含む
二つ以上の指定した検索語句をスペース区切りで入力することで、指定した検索語句のいずれかを含む情報を検索します。
- キーワードを含めない
一つ以上の検索語句をスペース区切りで入力することで、指定したすべての検索語句を含まない情報を検索します。

詳細条件

- コンテンツの種類
検索サーバに登録されている情報は、コンテンツごとに分類されています。ここでは、検索の対象とする種別を指定することができます。



コラム

コンテンツの種類は検索結果表示画面左の「絞り込み条件」から選択することもできます。

- 検索対象
検索するコンテンツの対象を指定することができます。
- 最新更新日
検索するコンテンツの最新更新日の現在からの期間を指定することができます。
- ページあたりの表示件数
検索結果で1ページに表示する件数を指定することができます。
検索結果数が1ページの表示数を超えた場合は、次ページ以降に表示されます。
- 並び替え
検索結果の並び替え順序を指定することができます。
- 要約表示
要約とは、検索キーワードが含まれるテキストの抜き書き（スニペット）のことです。
検索結果に要約を表示するか否かの設定をすることができます。

検索結果の表示設定を保存する

全文検索画面の「検索の設定」アイコンをクリックすると、検索結果の表示設定ができます。

i コラム

検索の設定はブラウザごとに保存されるため、保存時と異なるブラウザを利用した場合、保存した検索の設定を利用しません。
検索の設定の削除も同様に、ブラウザごとに削除されます。

以下から「検索」を行う場合に、この設定を利用して検索を行います。

1. グローバルナビの検索ボタンクリック時
2. 全文検索画面の検索ボタンクリック時

詳細検索の詳細条件に保存された検索の設定が初期値として、表示されます。



検索の設定

- ページあたりの表示件数
検索結果で1ページに表示する件数を指定することができます。
検索結果数が1ページの表示数を超えた場合は、次ページ以降に表示されます。
- 並べ替え
検索結果の並び替え順序を指定することができます。
- 要約表示
要約とは、検索キーワードが含まれるテキストの抜き書き（スニペット）のことです。
検索結果に要約を表示するか否かの設定をすることができます。

所属を変更する

画面右上のメニューより所属を変更することができます。

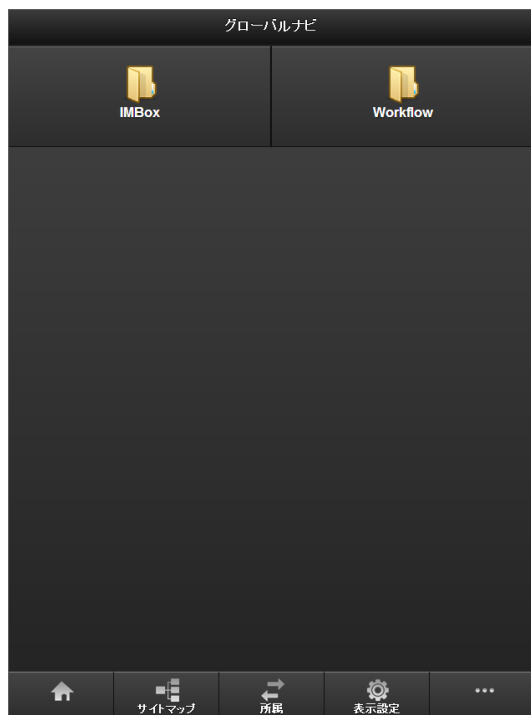


スマートフォン版を使う

画面右上のメニューより「スマートフォン版」をクリックすると「スマートフォン版」のページを参照することができます。



「スマートフォン版」では IMBox やWorkflow等を使用することができます。



パスワードを忘れた場合

一般ユーザがパスワードを忘れた場合に、パスワードを再設定させるパスワードリマインダ機能が用意されています。パスワードリマインダ機能が有効な場合、一般ユーザのログイン画面に「パスワードを忘れた方はコチラ」リンクが表示されます。

注意

- パスワードリマインダ機能を利用するには、以下が必要です。
 - テナント管理者によりシステム上にメールアドレスが登録されていること。
 - メールの受信が可能な環境であること。
- アカウントがロックされた状態の場合、パスワードを再設定してもアカウントロックは解除されません。

パスワードリマインダ機能を利用してパスワードを再設定する

1. ログイン画面より「パスワードを忘れた方はコチラ」リンクをクリックします。

2. ユーザコードを入力します。
バーチャルテナントによる複数テナント 環境の場合は、テナントIDを入力してください。
「送信」をクリックします。

3. リマインダメールが登録されているメールアドレスに送信されました。
4. リマインダメールを受信し、本文に記載されているURLのリンクをクリックします。

以下のURLにアクセスして、パスワードの再設定を行ってください。

[URL]

<http://localhost:8080/imart/user/password/reminder/resetting/5i4dkhv8r9fe9ph>

[URLの有効期限]

2012/12/22 21:01 まで

※URLの有効期限を過ぎますと、URLが無効となり、
アクセスすることができなくなります。

※当メールはシステムから自動で配信されております。
このメールアドレスに返信していただきましても、
ご質問等にはお答えできません。

5. 新しいパスワードを入力します。
6. 「登録」をクリックします。
確認ダイアログが表示されたら「決定」をクリックします。

7. パスワードが再設定されました。
8. 「ログイン画面へ戻る」をクリックします。

9. ユーザコードと登録したパスワードを入力してログインします。



コラム

送信されるメール

1. ユーザが指定しているロケールの言語で作成されます。
2. 有効期限が記載されている場合は、ユーザが指定しているタイムゾーンの時刻が表示されます。

Office 365 連携 に必要な設定を行う

intra-mart Accel Platform のユーザで Office 365 のユーザ と連携をすることで、各アプリケーションが提供する Office 365 連携の機能が利用できます。



注意

この設定は Office 365 連携 が導入されている場合のみ行うことができます。



注意

本項で掲載しているアプリケーションの表示名等はデフォルト設定時のものです。設定によっては実際の画面表示と異なる場合があります。

Office 365 連携 を許可する

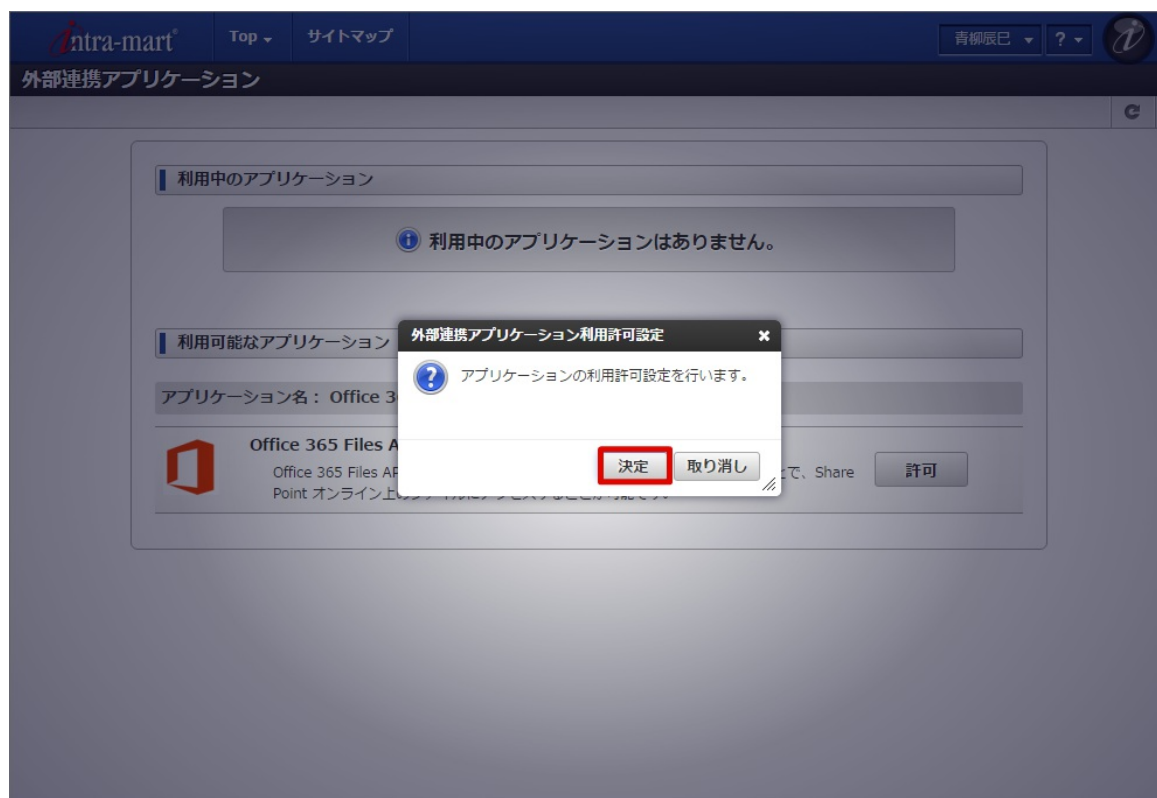
1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「外部連携アプリケーション」をクリックします。



2. 「Office 365 Files API」 の「許可」をクリックします。



3. 「決定」をクリックします。



- Office 365 の認証画面に遷移します。
Office 365 のユーザアカウントでサインインします。



- サインインが完了し、以下の画面が表示されれば連携の許可は完了です。



Office 365 連携 を解除する

1. 「サイトマップ」 → 「個人設定」 → 「外部連携アプリケーション」をクリックします。



2. 「Office 365 Files API」の「解除」をクリックします。



3. 「決定」をクリックします。



4. 以下の画面が表示されれば連携の解除は完了です。



SAML 認証を行う

intra-mart Accel Platform と認証情報を提供するIdP を連携することでSAML 認証を用いたログイン、ログアウトが利用できます。

注意

この操作は「SAML認証機能」が導入されていて、システム管理者がIdP の設定を完了している場合のみ行うことができます。システム管理者が行う設定は下記を参照してください。

- 「SAML認証セットアップガイド」 - 「SAML認証環境設定」
- 「SAML認証セットアップガイド」 - 「IdP新規作成」

intra-mart Accel Platform ユーザと IdP ユーザをマッピングする

SAML 認証で intra-mart Accel Platform にログインするには intra-mart Accel Platform ユーザとIdP で認証するユーザのマッピングが必要です。

詳細は「SAML認証セットアップガイド」 - 「SAMLユーザマッピング」を参照してください。

intra-mart Accel Platform のログイン画面からSAML 認証してログインする

intra-mart Accel Platform のログイン画面にあるSAML 認証でログインするボタンを押下すると intra-mart Accel Platform にSAML 認証でログインできます。

詳細は「SAML認証セットアップガイド」 - 「一般ユーザログイン」を参照してください。

intra-mart Accel Platform と IdP からログアウトする

intra-mart Accel Platform にSAML 認証でログインしている場合、intra-mart Accel Platform だけログアウトするか、intra-mart Accel Platform と IdP の両方からログアウトするか選択できます。

詳細は「SAML認証セットアップガイド」 - 「ログアウト(認証元からもログアウト)」を参照してください。

intra-mart Accel Platform のログイン画面を經由せずSAML 認証してログインする

intra-mart Accel Platform のログイン画面にあるSAML 認証でログインするボタンを押下する以外に intra-mart Accel Platform のログイン画面を經由せずSAML 認証することもできます。

詳細は「[SAML認証セットアップガイド](#)」-「[一般ユーザログイン画面を經由せずSAML 認証してログインする方法](#)」を参照してください。

多要素認証を行う

多要素認証とは、本人であると特定するために複数の要素をユーザに要求する認証です。

多要素認証を利用すると、ログイン時に通常のパスワードの他に、確認コードを入力することがユーザに求められます。

これにより、もしパスワードが盗まれてしまったとしてもアカウントが不正に利用されることを防げます。

ここでは、一般ユーザが多要素認証を利用する方法を紹介します。

項目

- [確認コードを利用してログインする](#)
- [バックアップコードを利用してログインする](#)
- [多要素認証を有効化する](#)
- [多要素認証を無効化する](#)
- [バックアップコードを作成する](#)
- [信頼済みブラウザ情報を削除する](#)

確認コードを利用してログインする

1. [ログインする](#) に従ってパスワードを入力して認証します。
2. 「確認コード入力」画面が表示されます。

多要素認証

アプリ認証

i 認証アプリを利用し、確認コードを入力してください。

このブラウザでは次回から表示しない

[認証アプリを利用できない方はコチラ](#)

3. 認証アプリに表示されている確認コードを入力して「ログイン」をクリックします。

多要素認証

アプリ認証

認証アプリを利用し、確認コードを入力してください。

確認コード

このブラウザでは次回から表示しない

[認証アプリを利用できない方はコチラ](#)

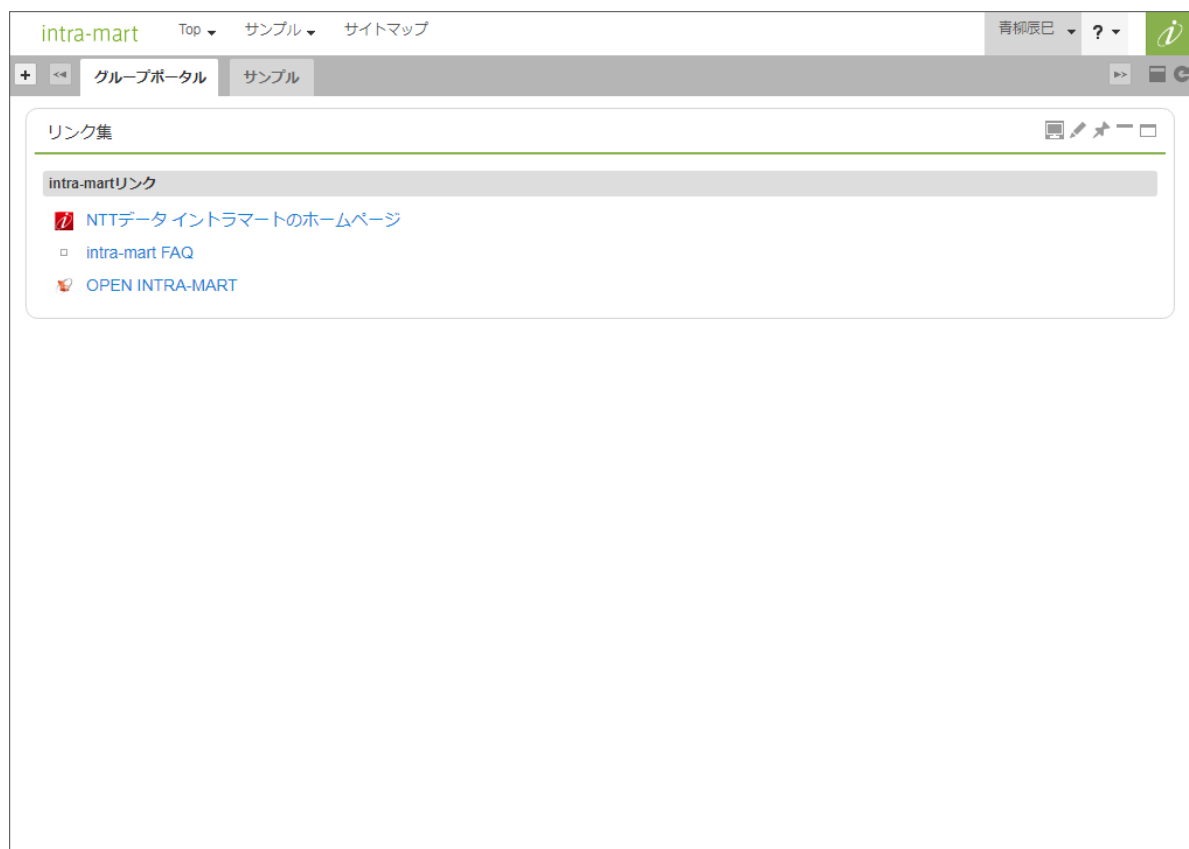
i コラム

「このブラウザでは次回から表示しない」を ON にしてログインすることで、一定期間そのブラウザが記憶されます。

記憶されたブラウザを使ってログインする際は、パスワードの入力だけでログインすることができます。

「[信頼済みブラウザ情報を削除する](#)」で記憶されたブラウザの情報を削除することができます。

4. ログインできました。



バックアップコードを利用してログインする

コラム

携帯端末を紛失してしまったり携帯端末が故障してしまったりなどで確認コードの入力ができない場合に、事前に作成したバックアップコードを入力することでログインできます。

バックアップコードの作成方法は、「[バックアップコードを作成する](#)」を参照ください。

注意

バックアップコードは一つのコードにつき一度しか利用できません。

1. [ログインする](#) に従ってパスワードを入力して認証します。
2. 「確認コード入力」画面が表示されます。

多要素認証



アプリ認証

認証アプリを利用し、確認コードを入力してください。

確認コード

このブラウザでは次回から表示しない

[認証アプリを利用できない方はコチラ](#)

3. 「認証アプリを利用できない方はコチラ」をクリックします。

多要素認証



アプリ認証

認証アプリを利用し、確認コードを入力してください。

確認コード

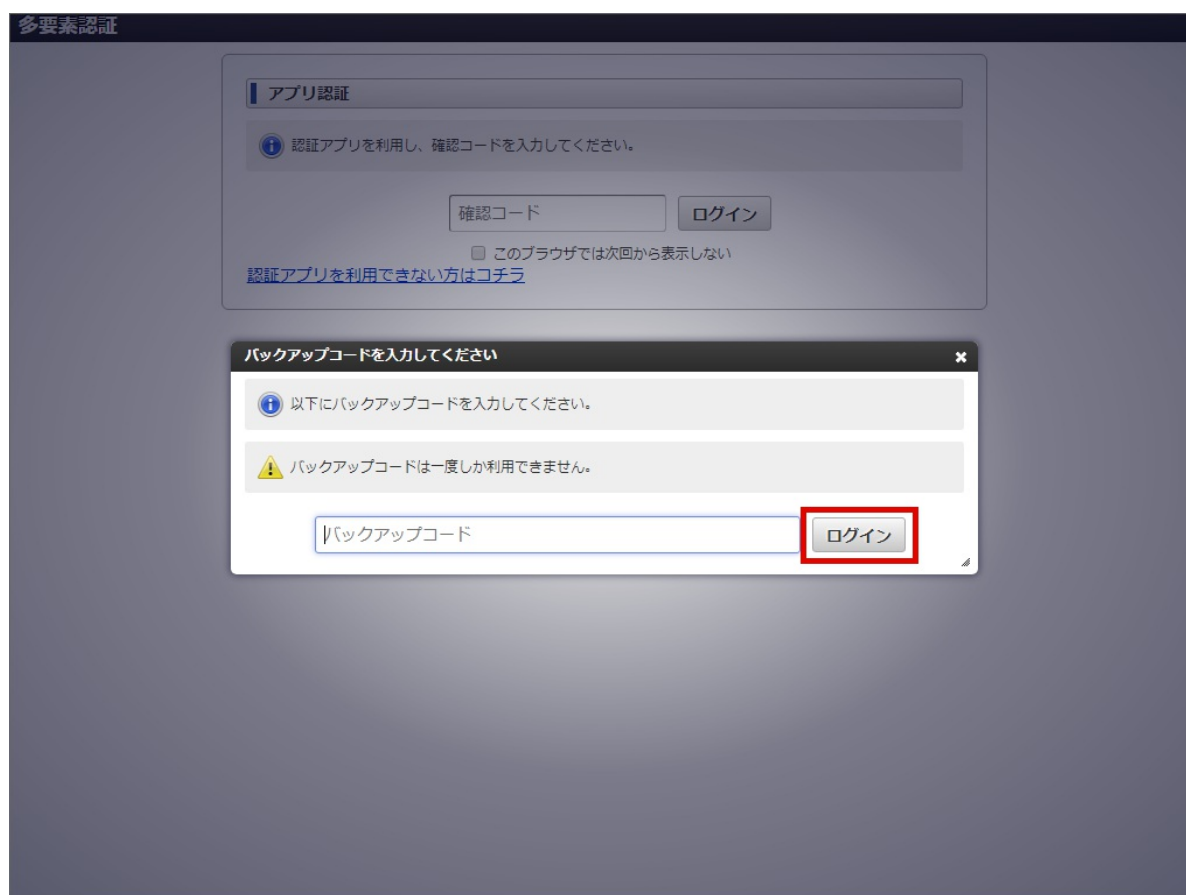
このブラウザでは次回から表示しない

[認証アプリを利用できない方はコチラ](#)

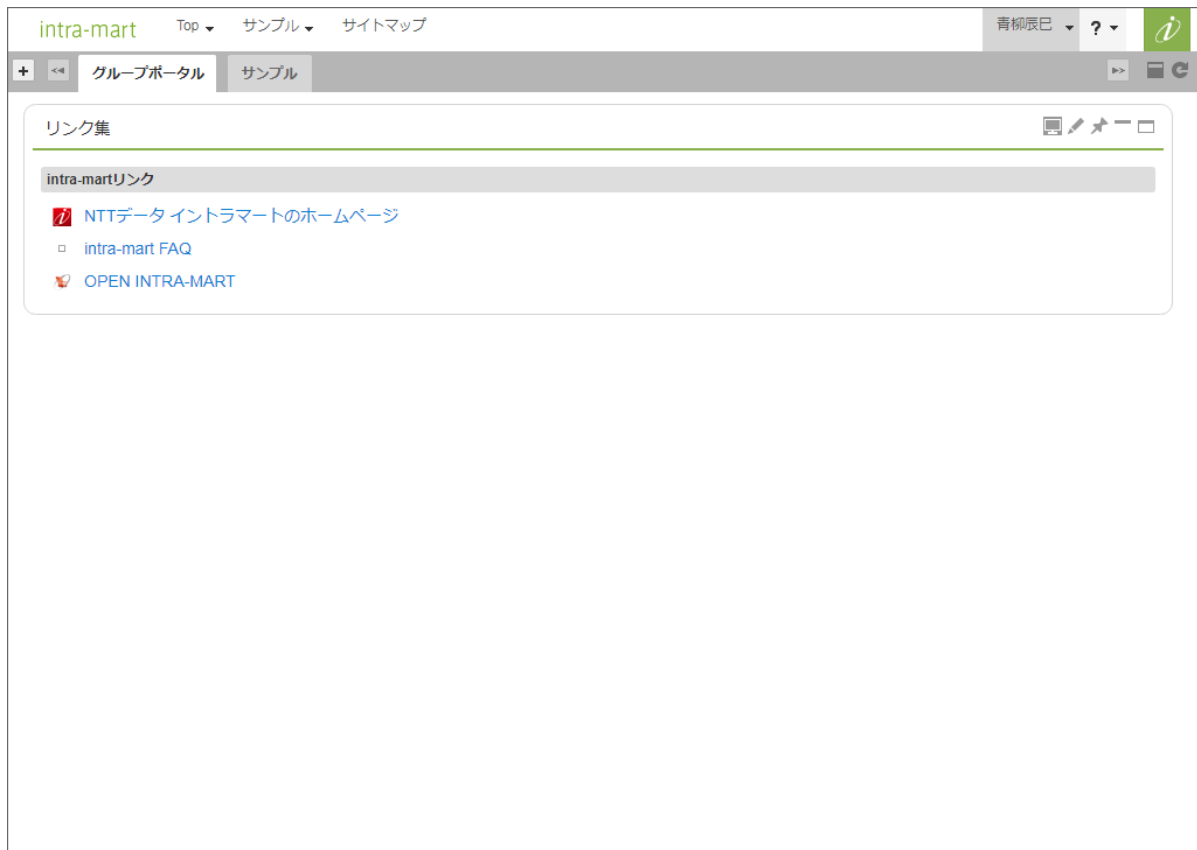
4. バックアップコード入力ダイアログが表示されます。



5. バックアップコード入力して「ログイン」をクリックします。

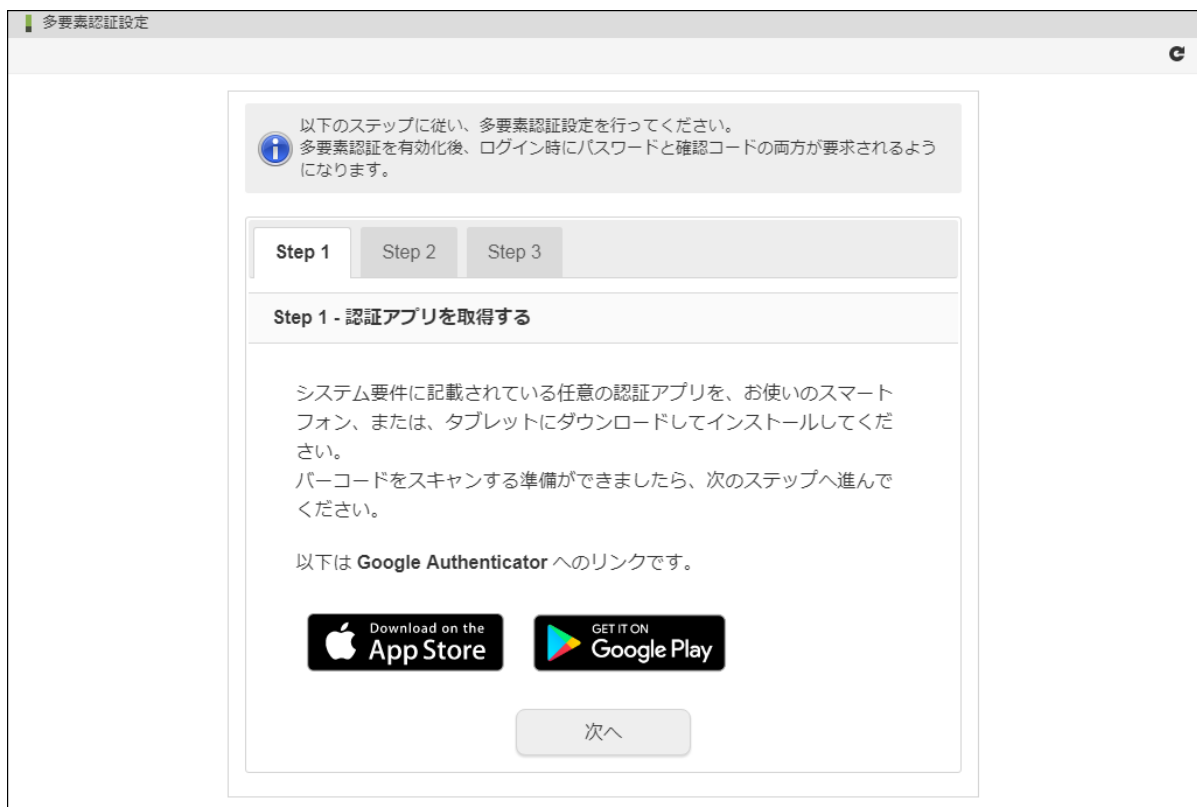


6. ログインできました。



多要素認証を有効化する

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「多要素認証設定」の順にクリックします。
2. 「多要素認証設定」画面が表示されます。



3. Step 1 のメッセージに従って、認証アプリを取得して「次へ」をクリックします。



4. Step 2 のメッセージに従って、認証アプリでバーコードをスキャンして「次へ」をクリックします。



5. Step 3 のメッセージに従って、確認コードを入力して「有効化」をクリックします。



6. 多要素認証を有効化できました。



多要素認証を無効化する

! 注意

多要素認証を無効化すると、以下の情報が削除されます。

1. 既に発行しているバックアップコード
2. 信頼済みブラウザ情報

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「多要素認証設定」の順にクリックします。
2. 「多要素認証設定」画面が表示されます。

多要素認証設定

多要素認証設定

⚠ 多要素認証を無効化すると、以下の情報が削除されます。

1. 既に発行しているバックアップコード
2. 信頼済みブラウザ情報

ℹ 多要素認証を無効化します。無効化すると、認証時に確認コードが要求されなくなります。

無効化

バックアップコード

⚠ バックアップコードが生成されていません。

ℹ バックアップコードを作成します。何らかの理由で認証アプリから確認コードが取得できない場合、代わりにバックアップコードを利用して認証することができます。一度バックアップコードを発行すると、すべてのコードを使い切るまで作成することができません。必ず保存してください。

作成

信頼済みブラウザ情報

ℹ 信頼しているブラウザ情報を削除します。この情報を削除すると、信頼済みのブラウザからアクセスした場合にも次回認証時に確認コードが要求されるようになります。

3. 「無効化」をクリックします。

多要素認証設定

多要素認証設定

⚠ 多要素認証を無効化すると、以下の情報が削除されます。

1. 既に発行しているバックアップコード
2. 信頼済みブラウザ情報

ℹ 多要素認証を無効化します。無効化すると、認証時に確認コードが要求されなくなります。

無効化

バックアップコード

⚠ バックアップコードが生成されていません。

ℹ バックアップコードを作成します。何らかの理由で認証アプリから確認コードが取得できない場合、代わりにバックアップコードを利用して認証することができます。一度バックアップコードを発行すると、すべてのコードを使い切るまで作成することができません。必ず保存してください。

作成

信頼済みブラウザ情報

ℹ 信頼しているブラウザ情報を削除します。この情報を削除すると、信頼済みのブラウザからアクセスした場合にも次回認証時に確認コードが要求されるようになります。

4. 多要素認証を無効化できました。

多要素認証設定

ℹ 以下のステップに従い、多要素認証設定を行ってください。多要素認証を有効化後、ログイン時にパスワードと確認コードの両方が要求されるようになります。

Step 1 Step 2 Step 3

Step 1 - 認証アプリを取得する

システム要件に記載されている任意の認証アプリを、お使いのスマートフォン、または、タブレットにダウンロードしてインストールしてください。バーコードをスキャンする準備ができましたら、次のステップへ進んでください。

以下は Google Authenticator へのリンクです。

Download on the App Store GET IT ON Google Play

次へ

バックアップコードを作成する

! 注意

一度バックアップコードを発行すると、すべてのコードを使い終わるまで再作成することができません。バックアップコードはスクリーンショットを撮ったりメモに残したりして、必ず保存してください。

! 注意

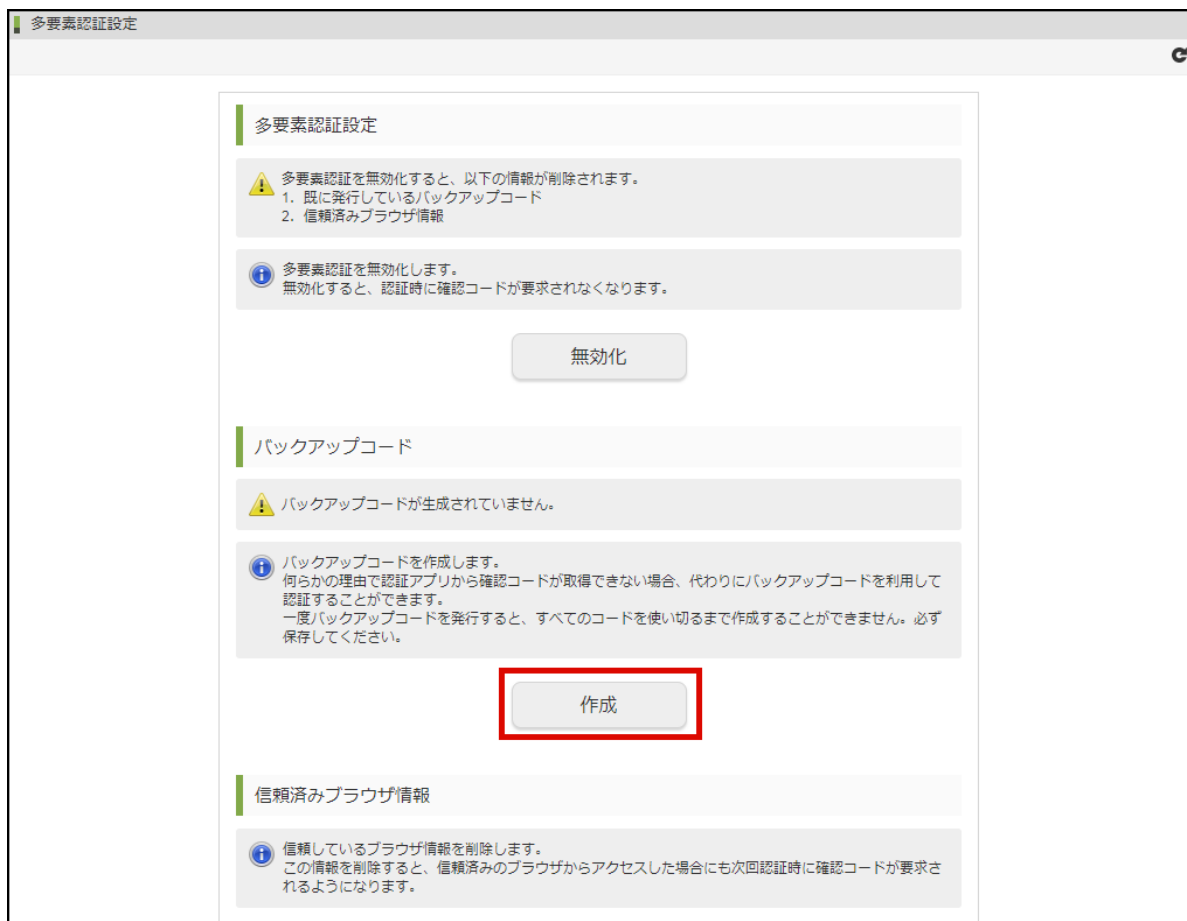
バックアップコードはパスワードと同等の価値を持つ大切なコードです。保存したスクリーンショットやメモは安全に保管しておくことをおすすめします。

1. 「サイトマップ」→「個人設定」→「多要素認証設定」の順にクリックします。
2. 「多要素認証設定」画面が表示されます。

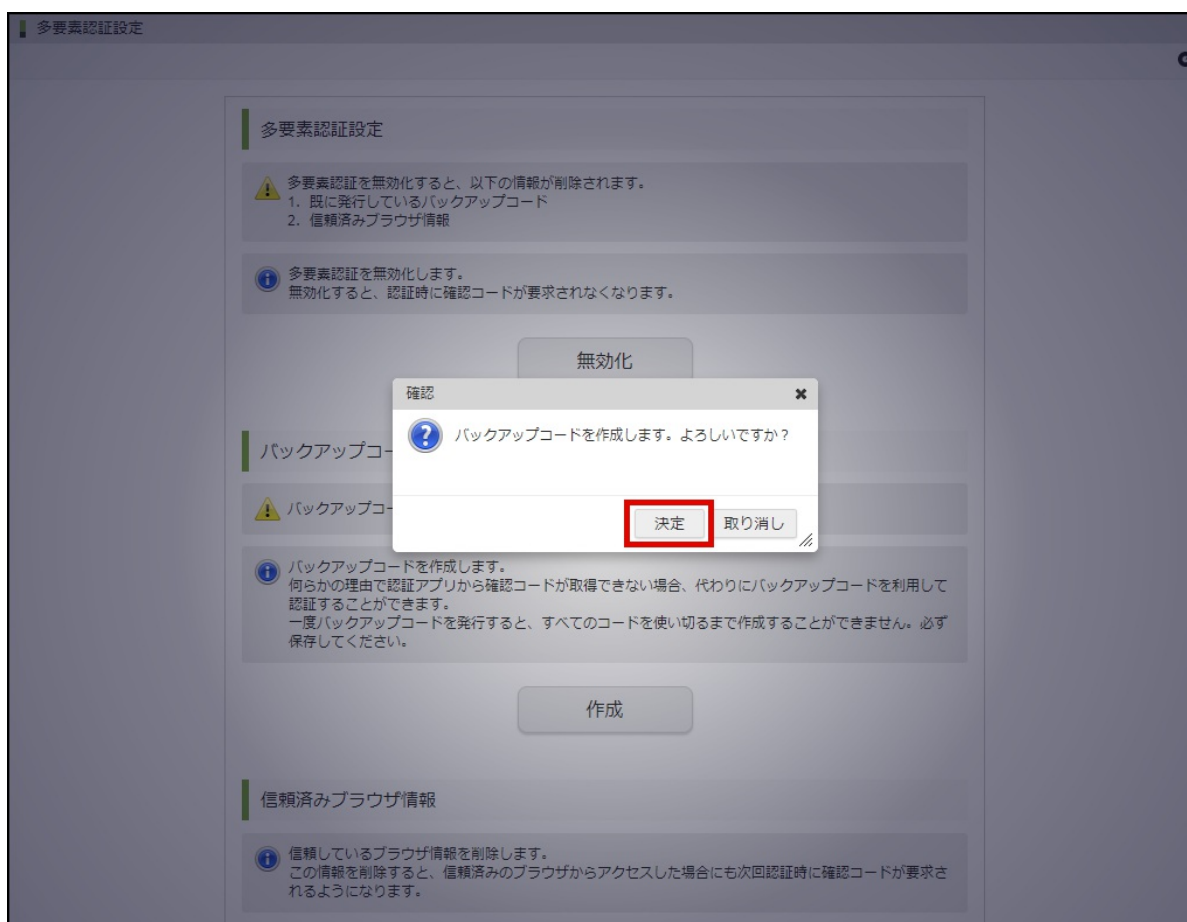
The screenshot shows the '多要素認証設定' (Multi-Factor Authentication Settings) page. The page is titled '多要素認証設定' and contains three sections:

- 多要素認証設定**: A warning icon indicates that disabling multi-factor authentication will delete the following information: 1. Already issued backup codes, 2. Trusted browser information. An information icon states that disabling multi-factor authentication will mean that confirmation codes are no longer required during authentication. A '無効化' (Disable) button is present.
- バックアップコード**: A warning icon indicates that backup codes have not been generated. An information icon states that backup codes will be created. For any reason, if a confirmation code cannot be obtained from the authentication app, confirmation codes can be used instead. Once a backup code is issued, all codes will be used up and cannot be re-created. It is recommended to save them. A '作成' (Create) button is present.
- 信頼済みブラウザ情報**: An information icon states that trusted browser information will be deleted. Deleting this information means that confirmation codes will be required during authentication even if accessed from a trusted browser. A '作成' (Create) button is present.

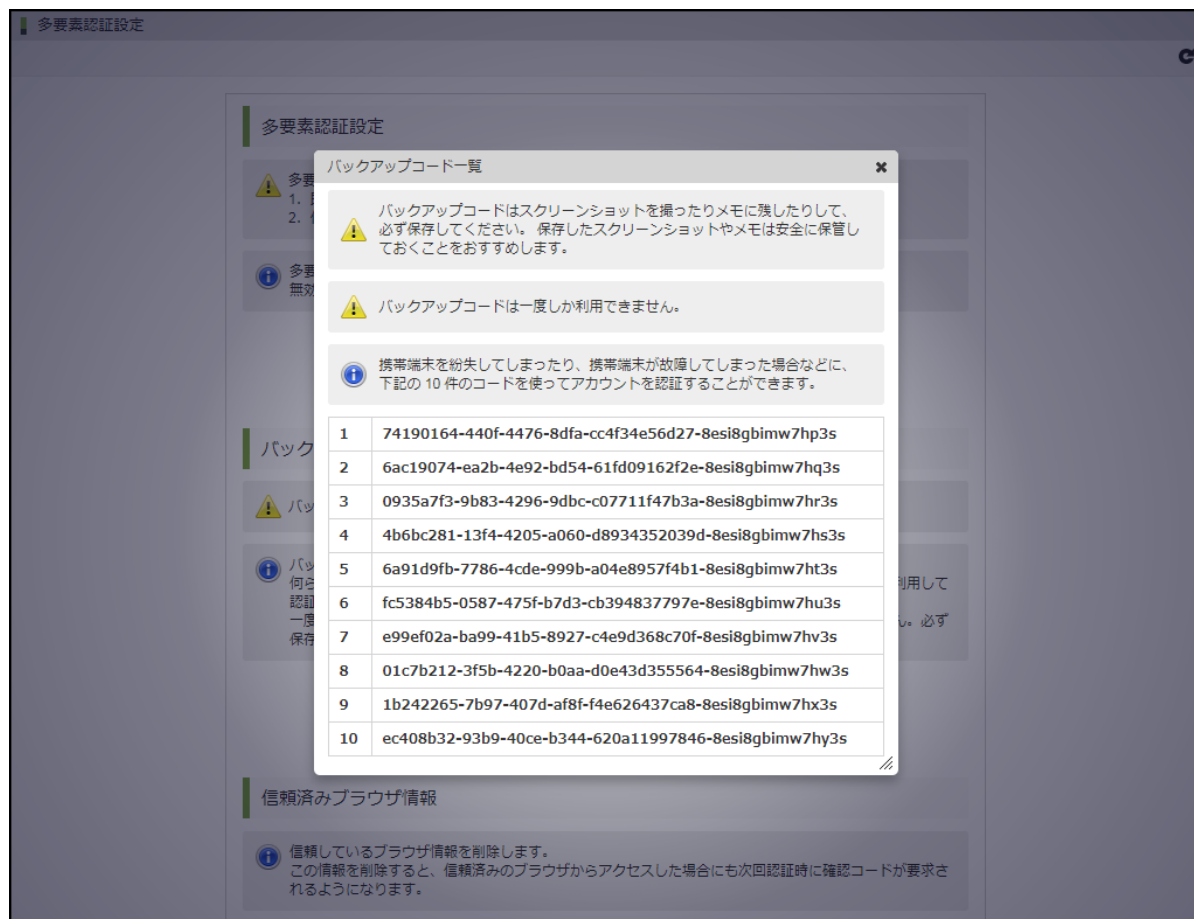
3. 「作成」をクリックします。



4. 「決定」をクリックします。

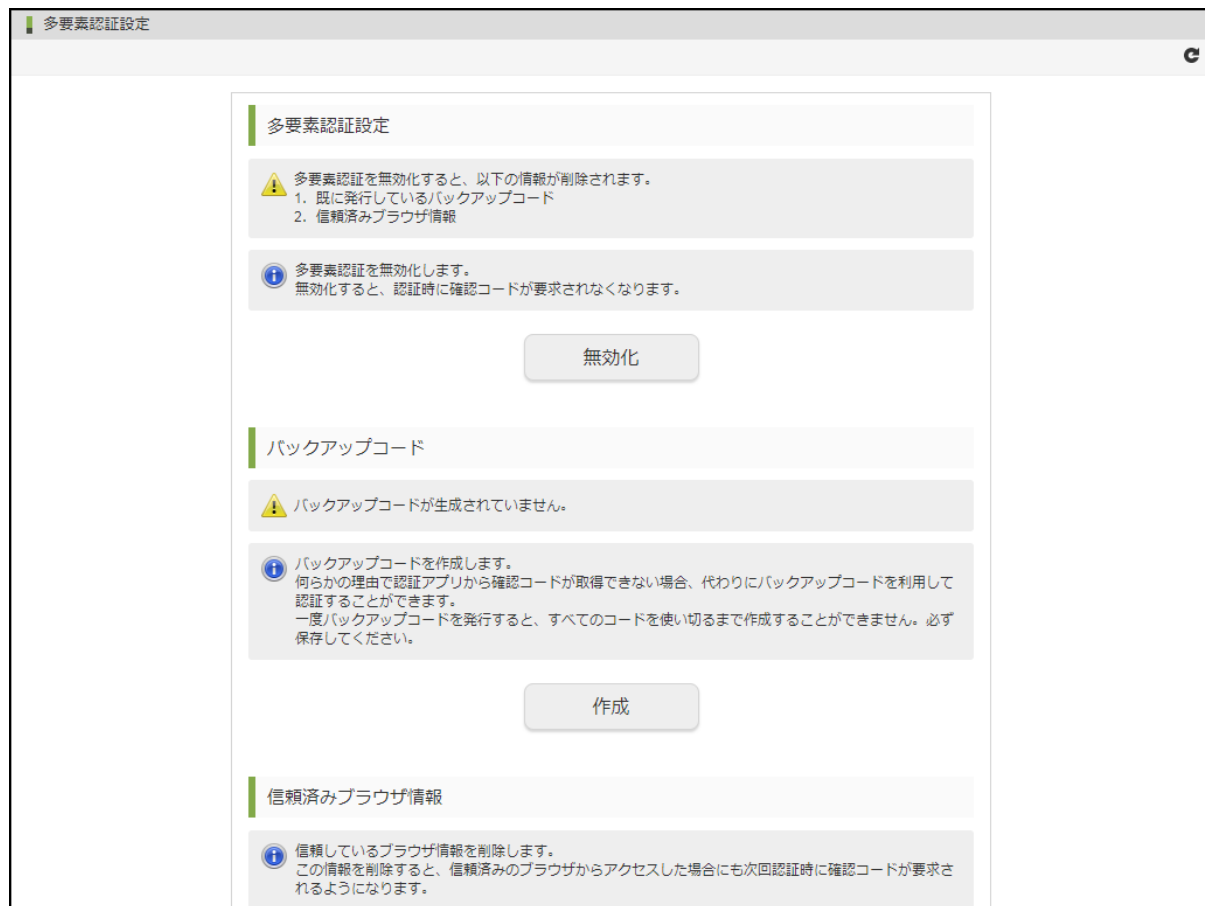


5. バックアップコードが作成されました。

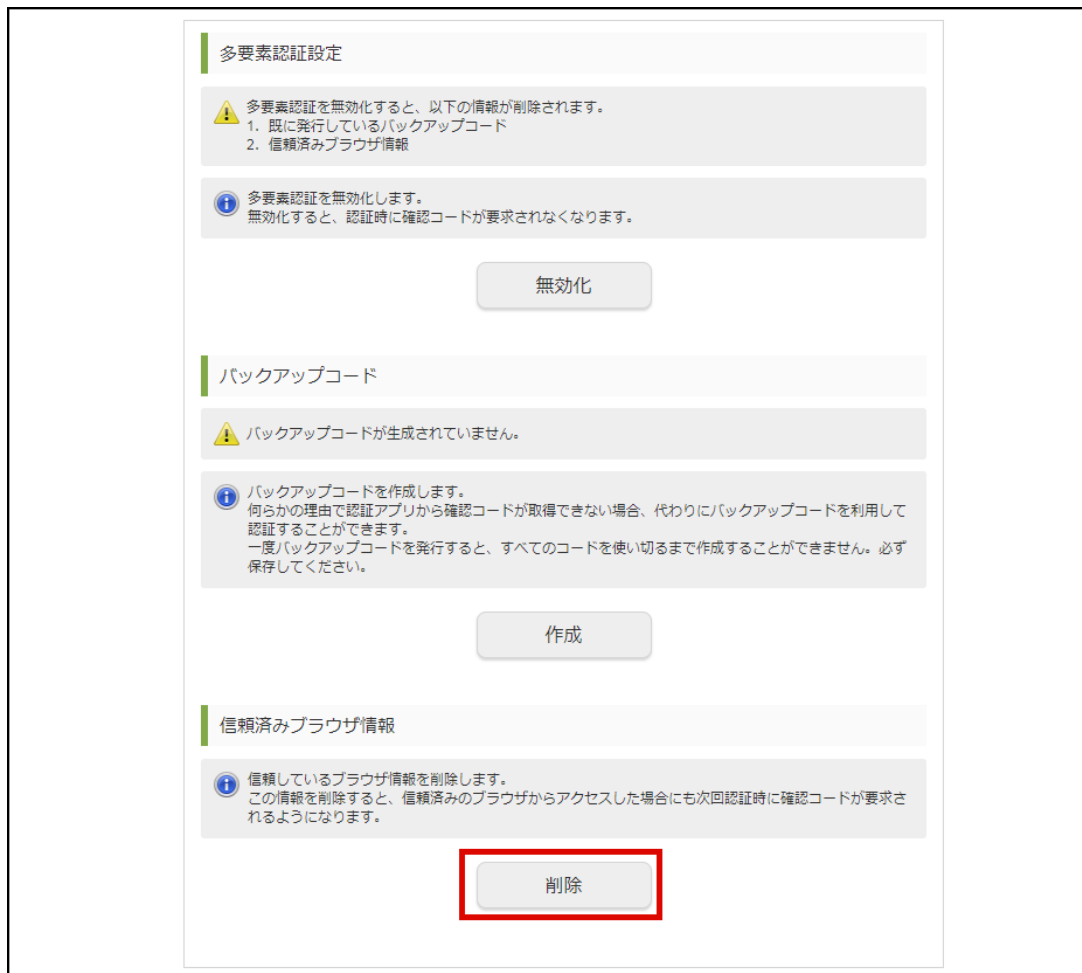


信頼済みブラウザ情報を削除する

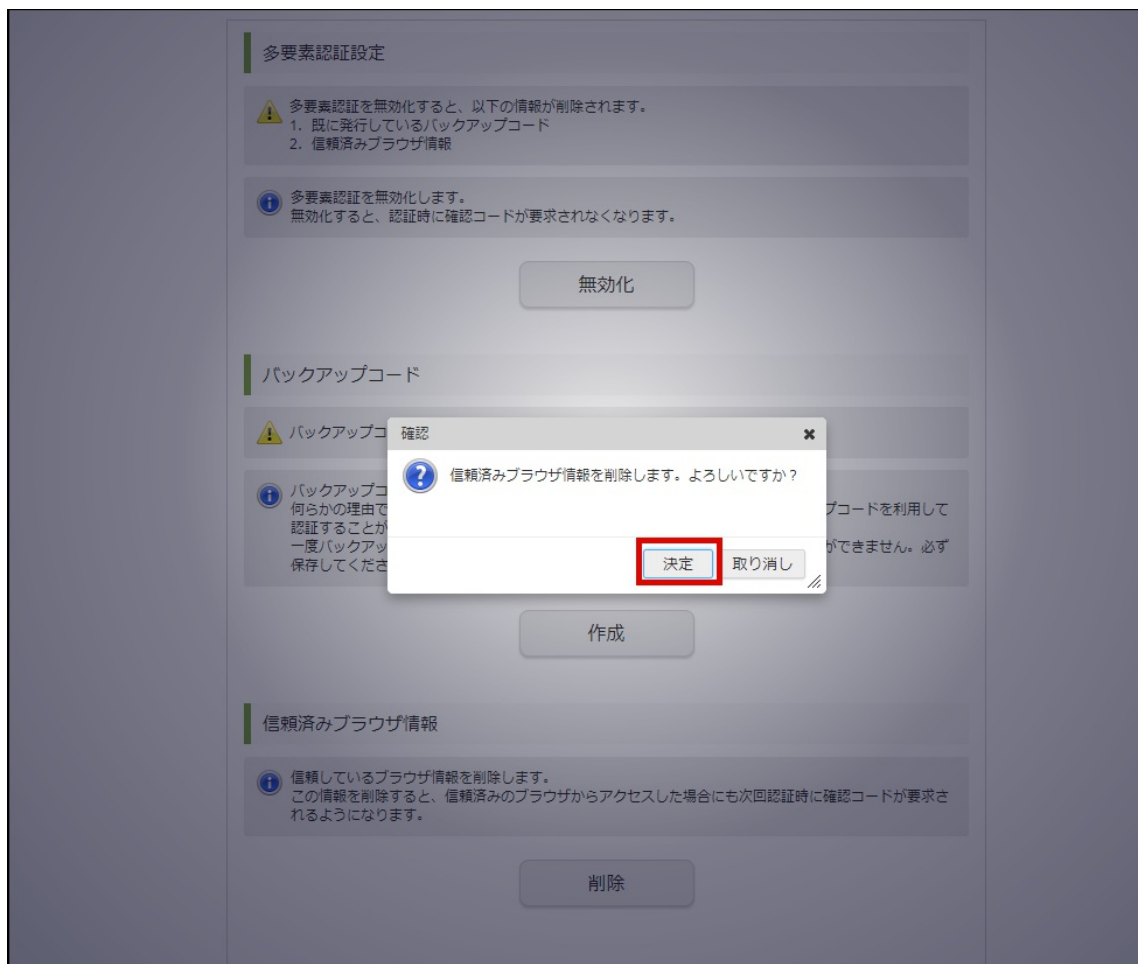
- 「サイトマップ」→「個人設定」→「多要素認証設定」の順にクリックします。
- 「多要素認証設定」画面が表示されます。



3. 「削除」をクリックします。




4. 「決定」をクリックします。




5. 信頼済みブラウザ情報が削除されました。

多要素認証設

信頼済みブラウザ情報を削除しました。


 多要素認証を無効化すると、以下の情報が削除されます。


1. 既に発行しているバックアップコード
2. 信頼済みブラウザ情報

 多要素認証を無効化します。
無効化すると、認証時に確認コードが要求されなくなります。

無効化


バックアップコード

 バックアップコードが生成されていません。

 バックアップコードを作成します。
何らかの理由で認証アプリから確認コードが取得できない場合、代わりにバックアップコードを利用して認証することができます。
一度バックアップコードを発行すると、すべてのコードを使い切るまで作成することができません。必ず保存してください。

作成

信頼済みブラウザ情報

 信頼しているブラウザ情報を削除します。
この情報を削除すると、信頼済みのブラウザからアクセスした場合にも次回認証時に確認コードが要求されるようになります。

削除